

株式会社 KIT



クライアントマネージャー
サーバー
ユーザーズガイド

はじめに

この度は弊社ソフトウェア『クライアントマネージャー』をご使用いただき、誠にありがとうございます。

著作権および商標について

RADEN は、(株) KIT の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

本書の一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

Copyright (c) 2014 KIT Co., Ltd. All Rights Reserved.

2014年12月

目次

第1章	製品情報	1
1	クライアントマネージャー概要	1
2	機能	2
2.1	配信機能	2
2.2	グループ管理機能	3
2.3	中継サーバー機能	3
第2章	インストールガイド	4
1	ご使用前に	4
2	動作環境	4
3	インストール手順	6
4	アンインストール手順	9
第3章	サーバー操作ガイド	11
1	サービスの開始と利用	11
1.1	管理コンソールの起動と接続先の設定	11
1.2	クライアントマネージャ(サーバー)の移行について	12
2	配信一覧表示	13
3	グループ機能の設定	14
3.1	グループタグの登録	16
3.2	タグ設定ユーザーの登録	17
3.3	タグ設定ユーザーのグループタグ権限の登録	17
4	RADEN アプリケーションの配信	18
4.1	配信情報の登録	18
4.2	配信情報の変更	23
4.3	配信情報の削除	24
5	プログラムの配信	25
5.1	配信情報の登録	25
5.2	配信情報の変更	29
5.3	配信情報の削除	30
6	最新情報の取得	30
7	バージョン情報	30
第4章	中継サーバー機能について	31
1	サーバー設定	32
2	サーバー状態の表示	33
第5章	付録1	34
1	プログラム実行結果の成否判定	34
2	プログラムの同時実行	34
3	配信プログラムのプログラム設定詳細	35
4	インストーラーを配信し自動インストール、自動更新を行う	36
5	クライアントマネージャーのサイレントインストール	37
第6章	付録2	38

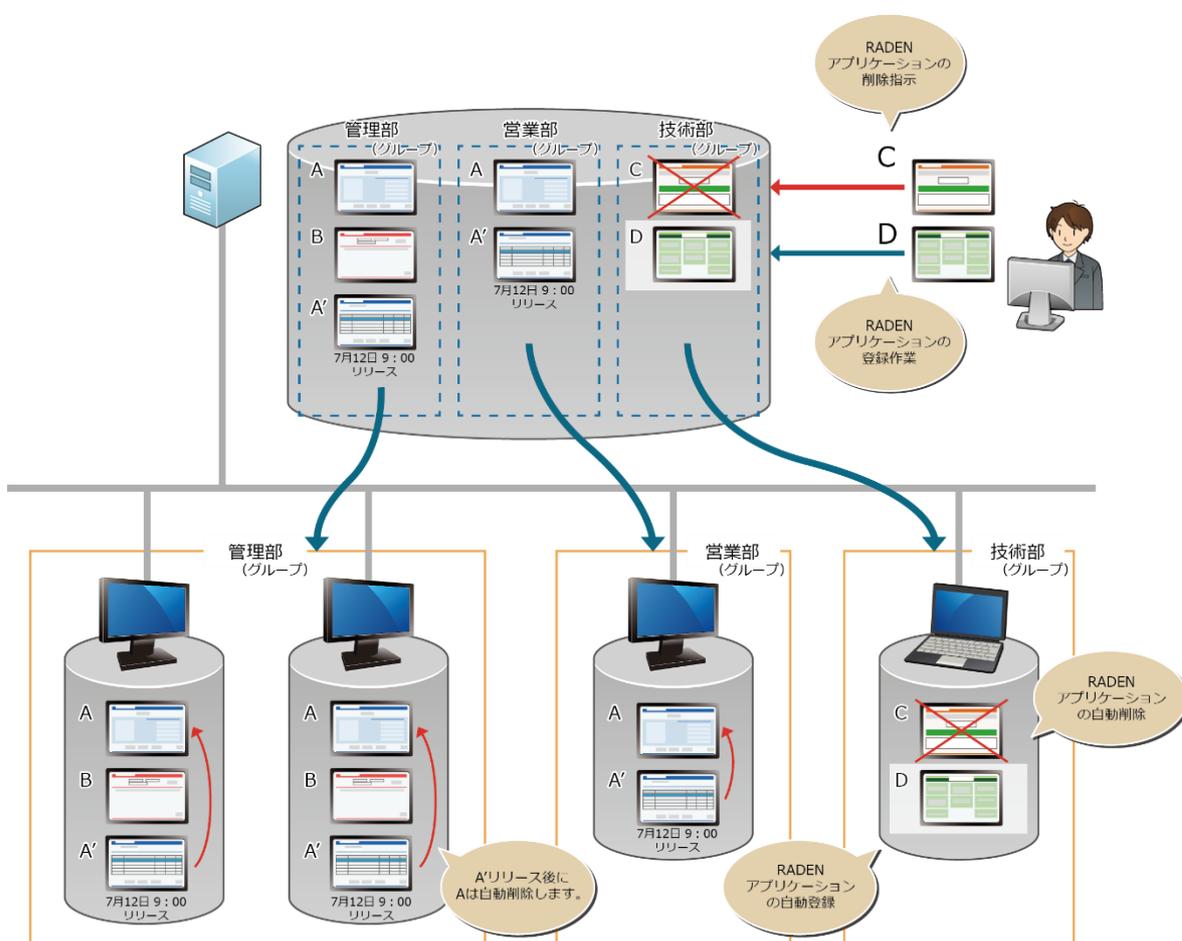
1	サーバーのポート番号の変更	38
第7章	付録3	40
1	RADEN アプリケーションの配信仕様	40
索引	41

第1章 製品情報

1 クライアントマネージャー概要

クライアントマネージャーは、RADEN アプリケーションやプログラムをクライアントに配信することができます。配信するアプリケーションは、グループ別に配布先や使用開始日時を設定することができます。

多数のクライアントのアプリケーション管理を遠隔から一元管理できることからシステム運用の作業軽減が可能となります。



2 機能

クライアントマネージャーは、RADEN アプリケーションやプログラムをグループ別に配信する機能を実現します。

2.1 配信機能

RADEN アプリケーションやプログラムをクライアントへ一斉に配信することができます。

2.1.1 RADEN アプリケーション配信機能

クライアントマネージャーに登録した RADEN アプリケーションを配信します。配信したアプリケーションは、クライアント端末の RADEN プレーヤーで追加、更新されます。

2.1.1.1 バージョン管理機能

同一名称の RADEN アプリケーションは、バージョン毎に管理します。新しいバージョンの配信が開始されると、古いバージョンが登録されているクライアント端末では新しいバージョンに置き換えます。

2.1.1.2 日時指定機能

RADEN アプリケーションの使用開始日時に未来の日付を指定することにより、配信予約が可能です。また、使用終了日時を指定することにより、配信を終了し、使用終了を通知することも可能です。

2.1.1.3 強制配信機能

RADEN アプリケーションを配信し、強制的に追加／更新を行います。クライアントに対して配信した RADEN アプリケーションの使用を徹底するための機能です。

2.1.1.4 ログ出力設定機能

RADEN アプリケーションの実行中の動作ログを出力するかを設定します。出力するログは、「正常」／「警告」／「異常」の3種類からを選択します。クライアント端末からログ出力設定を行った場合もサーバー側の設定が優先されます。

2.1.1.5 パスワード設定機能

配信した RADEN アプリケーションに対してパスワードを設定する機能です。クライアント端末で不正に設定変更されたり、削除されたりすることを防ぎます。

2.1.2 プログラム配信機能

クライアントマネージャーに登録したプログラムを配信し、設定したコマンドを実行します。設定するコマンドにより配信したデータ、プログラムを任意の位置に移動させる、セットアッププログラムを自動で起動する等が可能です。

2.1.2.1 日時指定機能

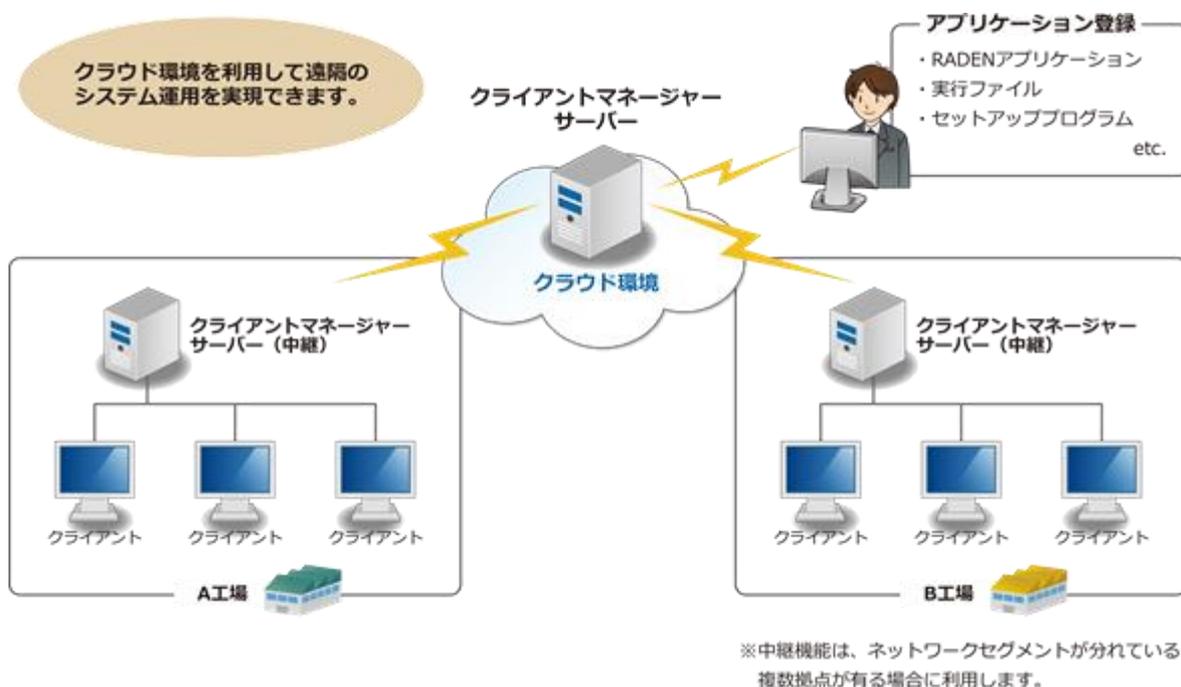
プログラムの使用開始日時に未来の日付を指定することにより、配信予約が可能です。また、使用終了日時を指定することにより、配信を終了します。

2.2 グループ管理機能

サーバー側で配信先のグループを指定することにより、グループに応じた RADEN アプリケーション、プログラムをクライアント側に使用させることが可能です。

2.3 中継サーバー機能

中継機能は、ネットワークセグメントが分かれている複数拠点を一元的に管理できます。親サーバー・中継サーバー・クライアントのシステム構成を実現します。



第2章 インストールガイド

1 ご使用前に

 **ご使用前に、必ずご確認ください。**

- ・ご使用いただく前に、インストール時に表示されますソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。
- ・本ソフトウェアは本製品の使用許諾契約のもとでのみ使用することができます。
- ・本製品を正しくお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。
- ・本製品を使用した結果の影響につきましては、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品の仕様、および本製品付属の各種マニュアルに記載されている内容は、将来予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- ・本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、お手数ですが弊社サポートまでご連絡ください。

2 動作環境

環境	詳細
OS	Windows Server 2008 Standard/Enterprise/Datacenter /Itanium/Web/HPC/Storage/Small Bussiness /Essential Business/Foundation(32bit, 64bit) Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter/Itanium/Web/Foundation /HPC(64bit) Windows Server 2012 Standard/Datacenter/Essentials/Foundation(64bit) Windows Server 2012 R2 Standard/Datacenter/Essentials/Foundation(64bit) Windows7 Home Premium/Professional/Ultimate(32bit, 64bit) Windows8.1/Windows8.1 Pro /Windows8.1 Enterprise(32bit, 64bit) Windows10 Home/Pro/Enterprise(32bit, 64bit) (いずれも日本語版)
パソコン本体	上記日本語 OS が稼働するパーソナルコンピューター
メモリ	2GB 以上
ハードディスク	20MB 以上の空き容量 (推奨)
CD-ROM ドライブ	インストール時に必要
ソフトウェア	Microsoft .NET Framework3.5 以上

第2章 インストールガイド

本製品の動作確認は一般的な運用を想定した動作検証を実施しており、全ての他社アプリケーションとの共存環境での検証を実施するには至っておりません。

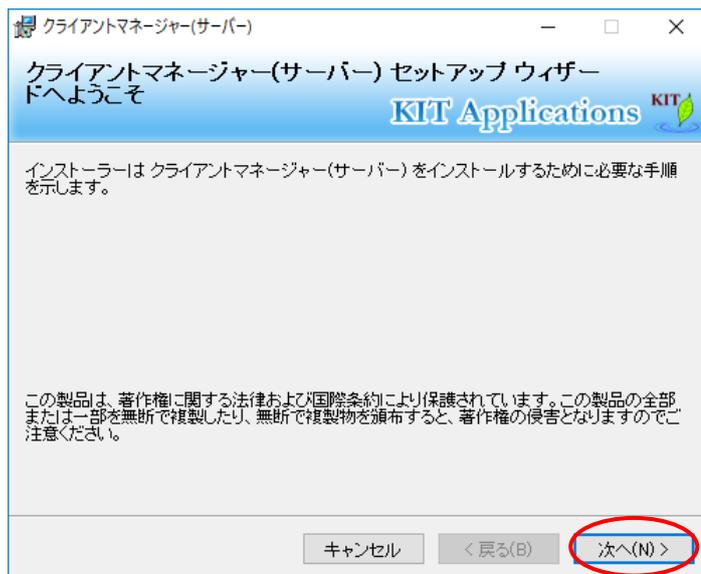
従いまして、上記動作環境は全ての環境での本製品の動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

3 インストール手順

本書は、Windows10 での操作手順および画面を記載します。
以下の手順でインストールを行ってください。

(1)インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

クライアントマネージャーセットアップウィザードが自動的に起動します。



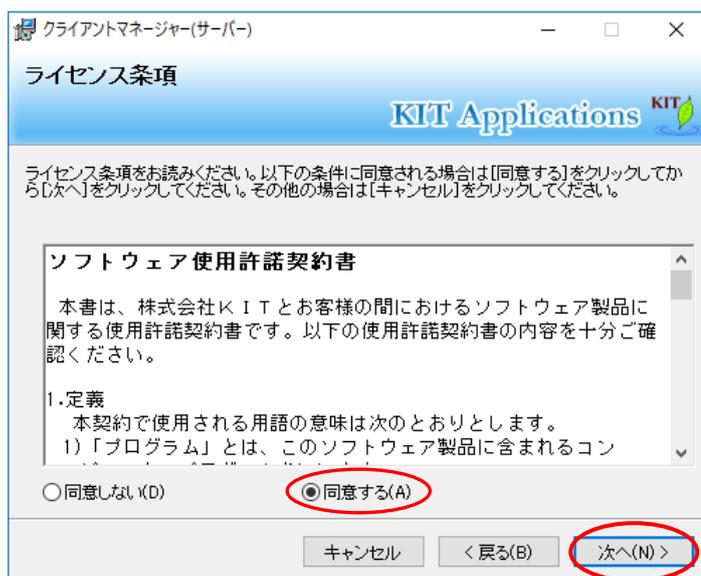
※この画面が自動的に起動しない場合は、CD-ROM 内の「setup.exe」を実行してください。

※「.NET Framework3.5」が導入されていない場合、「.NET Framework3.5」のインストール画面が表示されることがあります。

その場合は、画面の指示に従いインストールを行ってください。

(2)「次へ(N)」をクリックします。

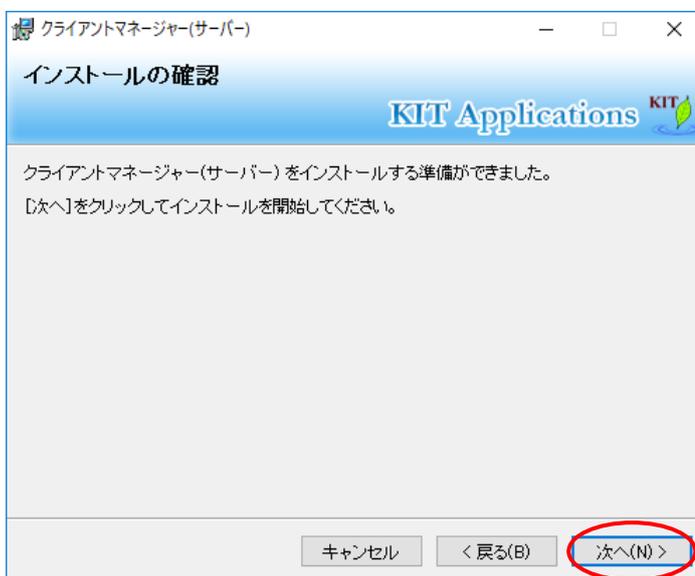
(3)「ソフトウェア使用許諾契約書」をご確認の上、「同意する(A)」をチェックし、「次へ(N)」をクリックします。



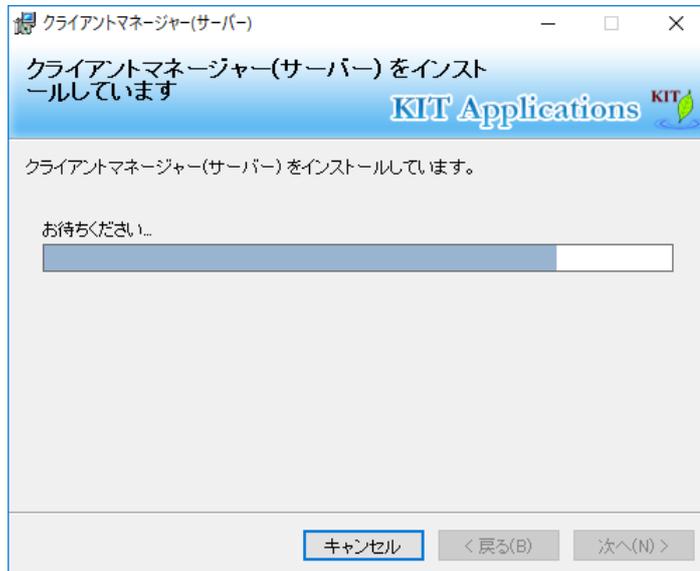
- (4) インストール先のフォルダーを確認し、「次へ(N)」をクリックします。
 インストール先のフォルダーを変更する場合は、「参照(R)」をクリックし、保存するドライブ、およびフォルダーを指定してください。



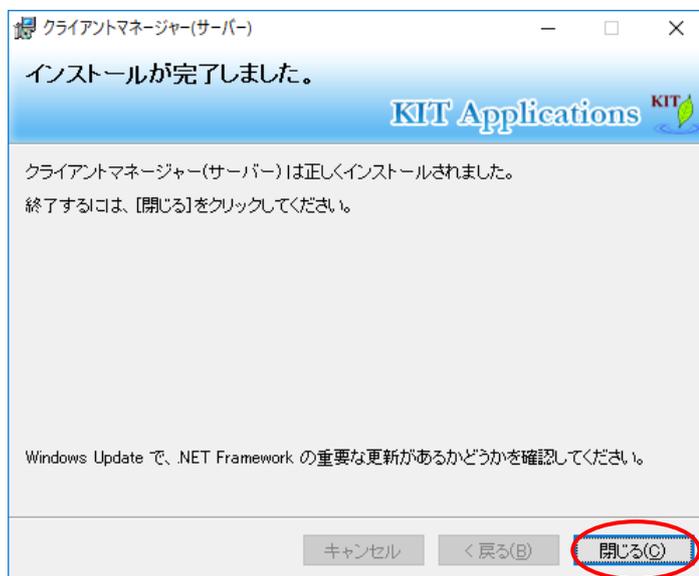
- (5) 「次へ(N)」をクリックすると、インストールが開始されます。



- (6)インストールの実行中です。
画面が切り替わるまでそのままお待ちください。



- (7)インストールが終了すると、以下の画面が表示されます。
「閉じる(C)」をクリックし、セットアップウィザードを終了します。



以上でインストールが完了です。

4 アンインストール手順

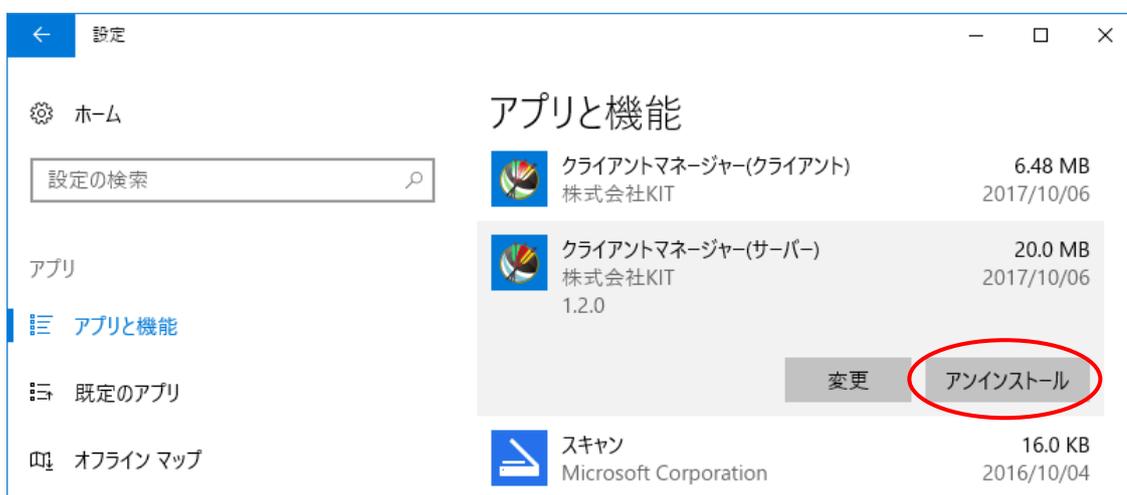
本書は、Windows10 での操作手順および画面を記載します。

クライアントマネージャーの使用を中止される場合は、以下の手順でアンインストールを行ってください。

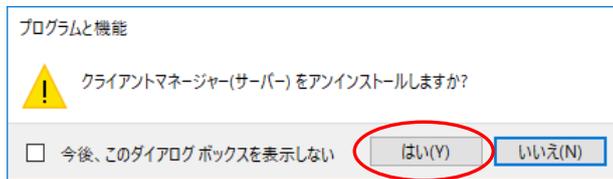
- (1) Windows のタスクバーで[スタート]ボタン→[設定]を選択します。

設定の[アプリ]をクリックします。

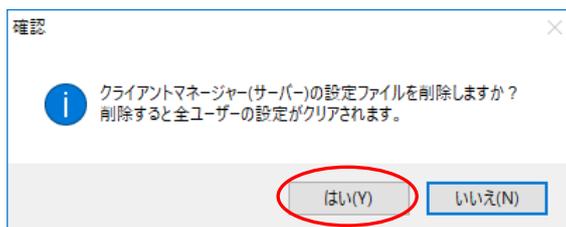
[アプリと機能]の中から、「クライアントマネージャー（サーバー）」を選択し、「アンインストール」をクリックします。



- (2) 下のメッセージが表示されます。「はい(Y)」をクリックすると、アンインストールが開始されます。



- (4) アンインストール開始後、下の確認メッセージが表示されます。「はい(Y)」 「いいえ(N)」のどちらかをクリックしてください。



以上でアンインストールが完了です。

第3章 サーバー操作ガイド

1 サービスの開始と利用

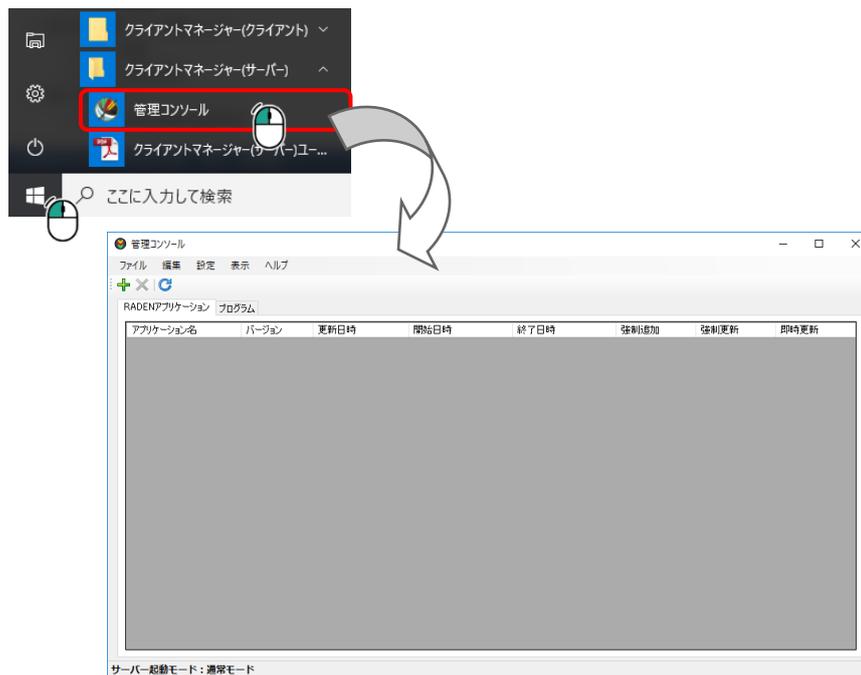
クライアントマネージャー (サーバー) は、クライアントマネージャーのサービスを提供する「サーバー」と、サーバーの操作画面を提供する「管理コンソール」に分かれています。インストール後、サーバーはサービス開始状態になります。サーバーの操作を行うために、管理コンソールからサーバーへの接続先の設定を行ってください。

クライアントマネージャ (サーバー) を別のコンピュータに移行する場合は、「1.2 クライアントマネージャ (サーバー) の移行について」をご参照ください。

1.1 管理コンソールの起動と接続先の設定

管理コンソールは、Windows のアプリビューから起動します。

スタートメニューの「クライアントマネージャー (サーバー)」 - 「管理コンソール」 から起動します。

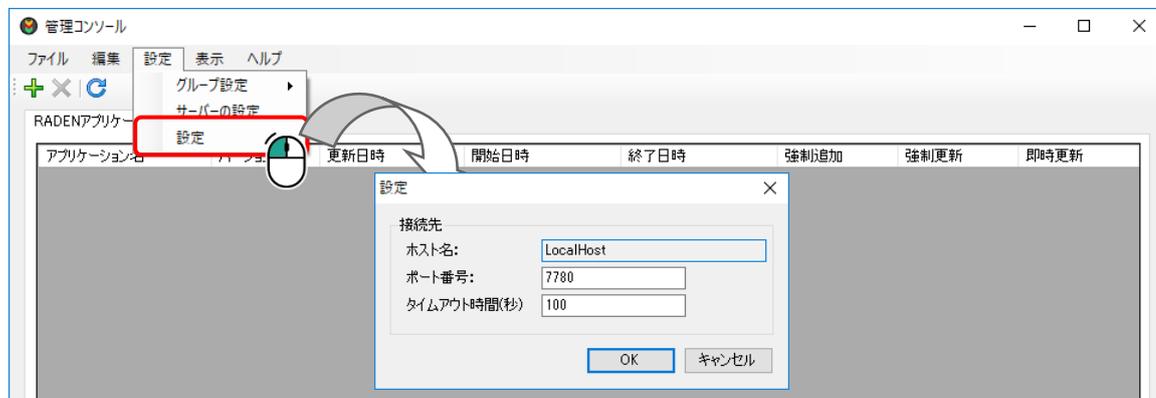


管理コンソール画面は、デスクトップ上のショートカットアイコンからも表示できます。



管理コンソールの「設定」メニューの「設定」をクリックし、設定画面を表示します。接続先のポート番号の設定を行ってください。初期状態では、サーバー側の初期状態のポート番号「7780」に設定されています。

なお、管理コンソールは同一端末で動作しているサーバーにのみ接続可能ですので、ホスト名は「LocalHost」固定となります。



タイムアウト時間の設定を変更する必要はありません。サーバーとの通信でタイムアウトエラーが発生する場合は変更してください。

1.2 クライアントマネージャ(サーバー)の移行について

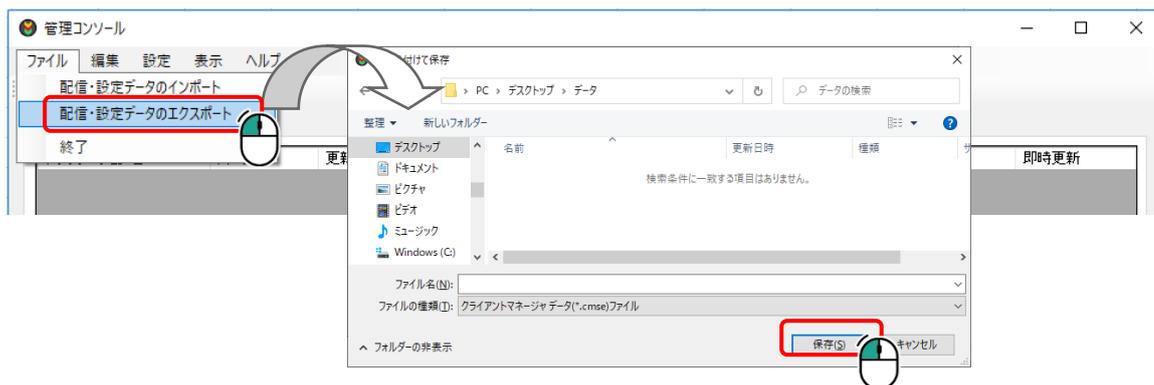
クライアントマネージャ(サーバー)を別のPCに移行する場合は、以下の手順に沿ってデータ移行を行う必要があります。

- (1) 移行元のPC上で「配信・設定データのエクスポート」を行う。
- (2) (1)で保存したファイルを移行先のPCにコピーし「配信・設定データのインポート」を行う。

「配信・設定データのインポート」「配信・設定データのエクスポート」の詳細は以下で説明します。

1.2.1 エクスポート

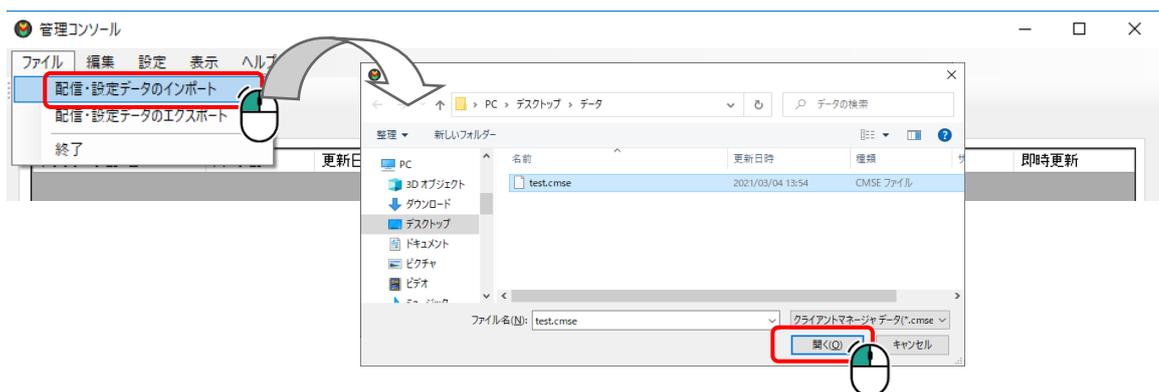
「ファイル」メニューの「配信・設定データのエクスポート」ボタンをクリックします。「名前を付けて保存」画面でファイルの保存先、ファイル名を指定して、「保存(S)」をクリックすると、エクスポートファイルが保存されます。



1.2.2 インポート

「ファイル」メニューの「配信・設定データのインポート」ボタンをクリックします。「開く」画面でファイルを選択して、「開く(O)」をクリックします。配信情報・設定情報を取り込み、表示が更新されます。

※設定情報のポート番号、タイムアウト時間（秒）は取り込み対象外となっています。

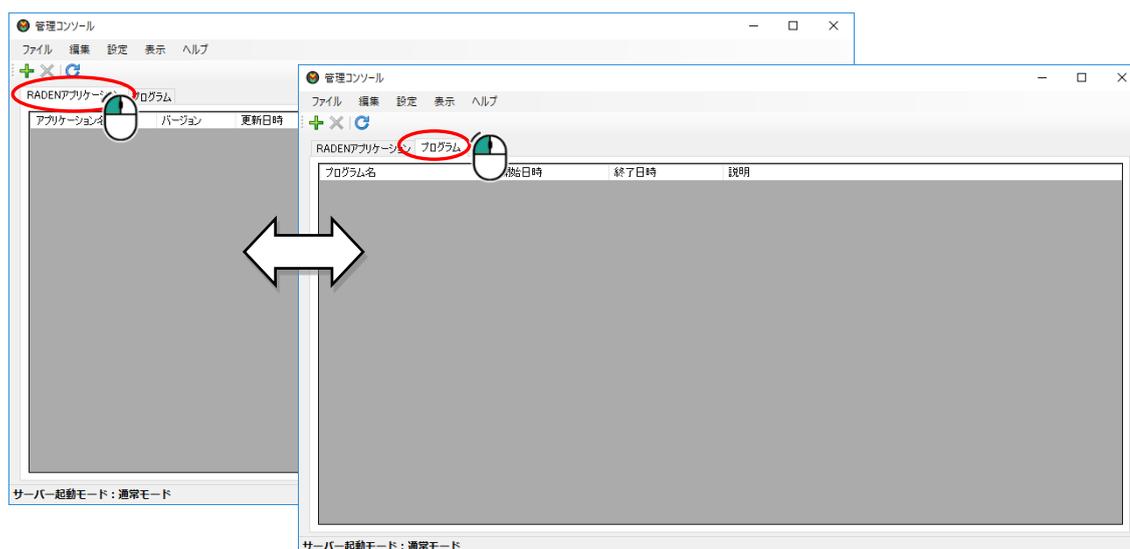


以下のような画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。



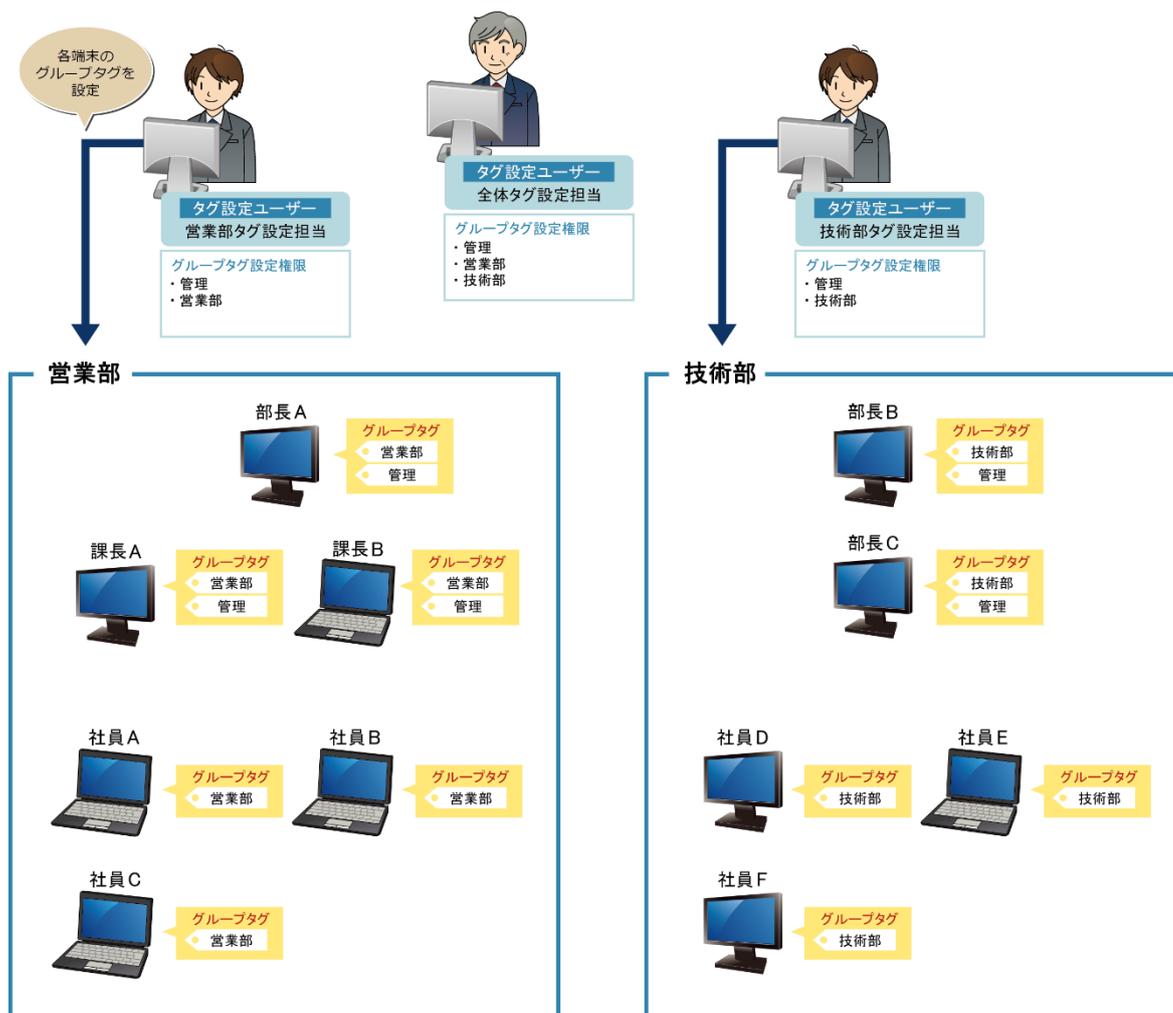
2 配信一覧表示

管理コンソール画面には、登録済みの配信一覧が表示されます。配信一覧の表示内容は、「RADEN アプリケーション」「プログラム」毎に表示します。各タブを選択し、配信一覧の表示を切り替えてください。



3 グループ機能の設定

クライアントマネージャーでは、クライアントをグループ化し、グループ毎に必要なアプリケーションを配信することができます。クライアントをグループ管理するためには、事前にグループタグ、及び、タグ設定ユーザーの登録を行ってください。



グループタグ :

グループタグとは、クライアントマネージャー(サーバー)で指定する配信先です。各クライアントで配信を受取るグループタグの設定を行います。

タグ設定ユーザー :

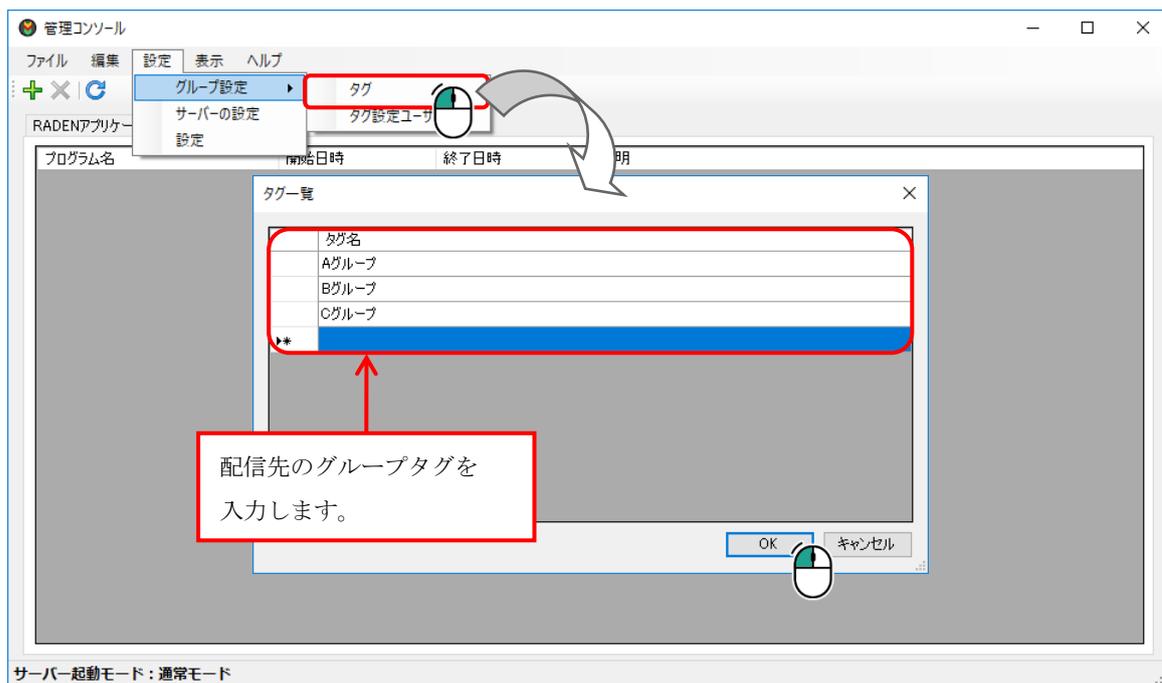
タグ設定ユーザーとは、各クライアントにグループタグを設定するユーザー(担当者)です。

グループタグ設定権限(タグ設定ユーザー) :

グループタグ設定権限とは、タグ設定ユーザーがグループタグを指定できる権限のことです。タグ設定ユーザーはグループタグ設定権限の範囲でクライアントにグループタグを設定できます。

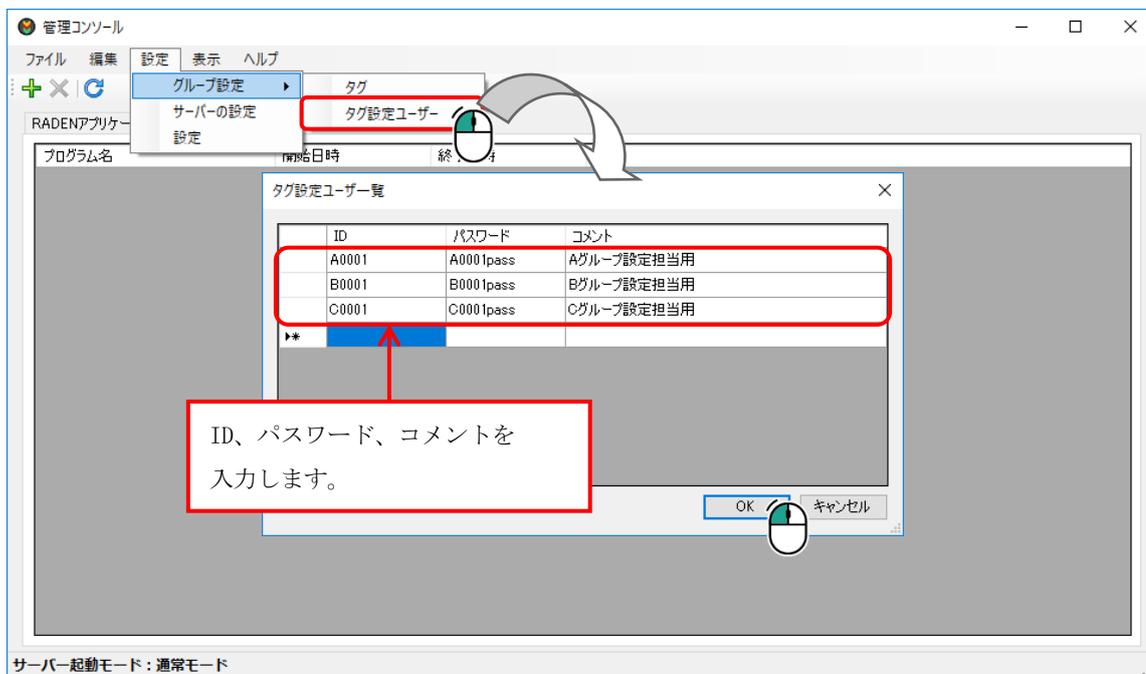
3.1 グループタグの登録

グループ設定のタグに配信先のグループタグを登録します。管理コンソールの「設定」メニューの「グループ設定」→「タグ」をクリックし、タグ一覧画面を表示します。タグ名の欄に配信先グループを入力し、「OK」ボタンを押下してください。登録したタグ名は、配信情報の登録時、配信先の一覧に表示されます。



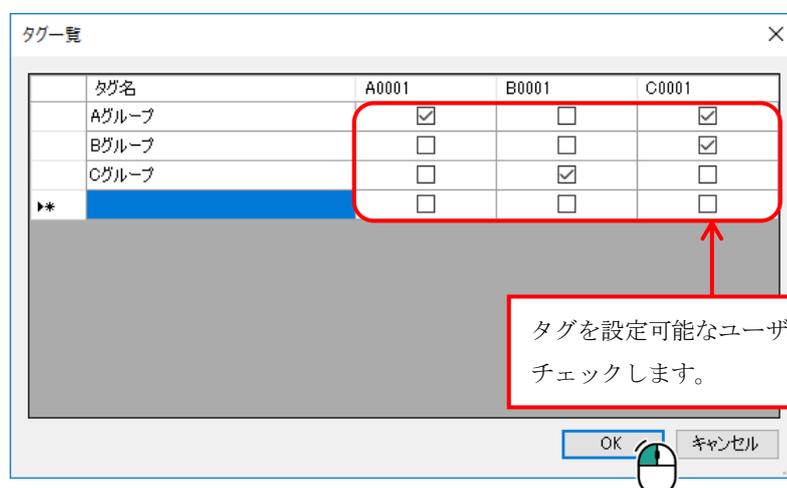
3.2 タグ設定ユーザーの登録

クライアント側でグループ配信機能を使用するために、タグ設定ユーザーの登録が必要です。管理コンソールの[設定]メニューの[グループ設定]→[タグ設定ユーザー]をクリックし、タグ設定ユーザー一覧画面を表示します。IDとパスワード、コメントを入力し、「OK」ボタンを押下してください。登録したID、パスワードは、クライアント側でグループ設定時使用します。



3.3 タグ設定ユーザーのグループタグ権限の登録

タグ設定ユーザーが設定可能なグループタグの範囲を登録します。管理コンソールの「設定」メニューの「グループ設定」→「タグ」をクリックし、タグ一覧画面を表示します。タグ名の右にタグ設定ユーザーが表示されますので、クライアントにタグを指定可能とするユーザーをチェックし、「OK」ボタンを押下してください。

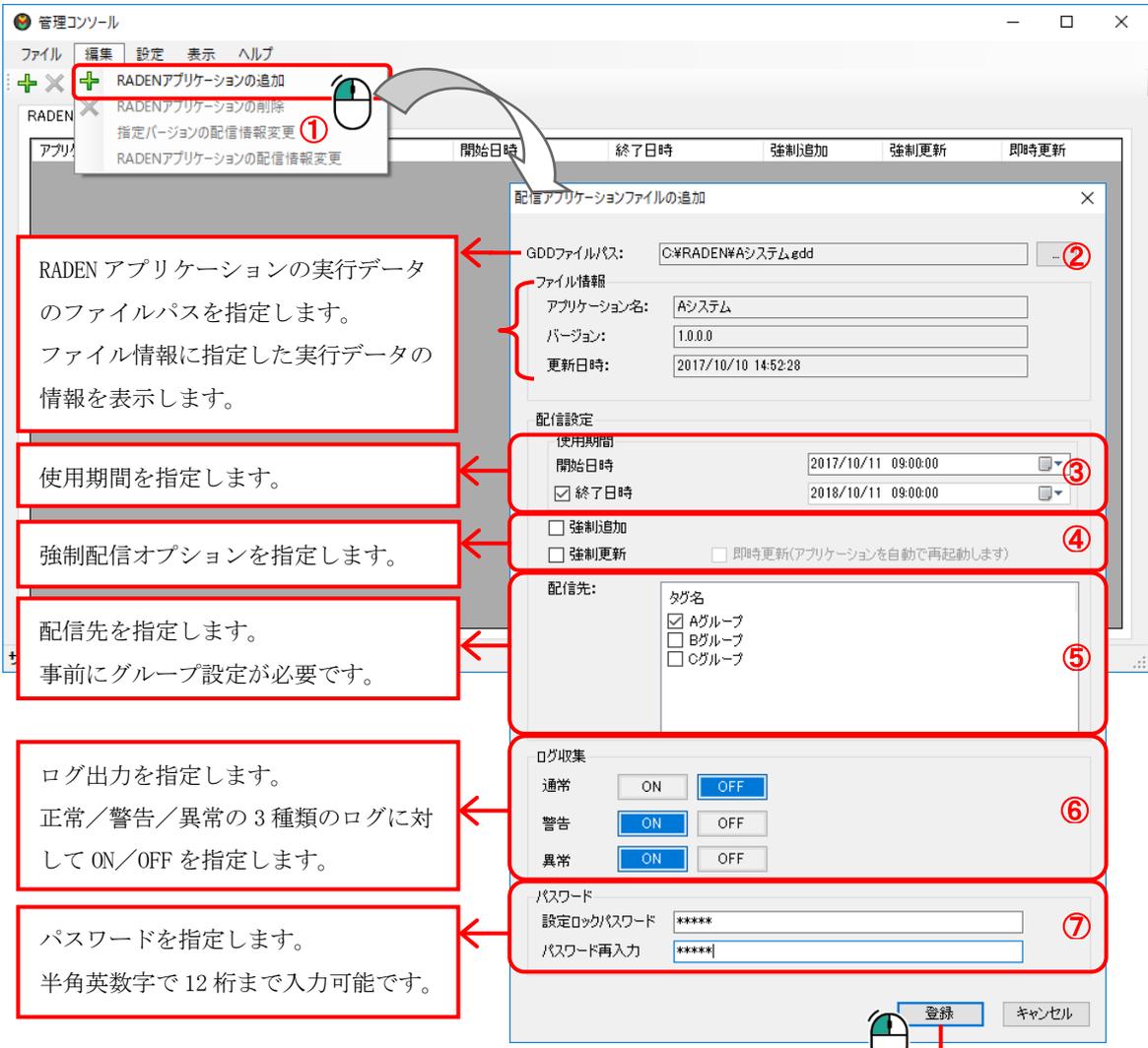


4 RADEN アプリケーションの配信

サーバーからクライアントに対して、RADEN アプリケーションを配信するために、配信情報を登録してください。管理コンソール画面の「編集」メニューより、配信情報の登録/変更/削除の設定を行います。

4.1 配信情報の登録

配信する RADEN アプリケーションの登録を行います。管理コンソールの「RADEN アプリケーション」タブを選択してください。「編集」メニューの「RADEN アプリケーションの追加」をクリックし、配信情報の追加画面を表示します。又は、ツールバー上の  アイコンからも追加画面が表示できます。登録は最大 1000 件まで可能です。



The screenshot shows the '配信アプリケーションファイルの追加' (Add Distribution Application File) dialog box. It includes fields for GDD file path, application name, version, and update date. There are checkboxes for '強制追加' (Force Add), '強制更新' (Force Update), and '即時更新' (Immediate Update). A list of tags (A, B, C groups) is available for selection. There are also sections for log collection (Normal, Warning, Error) and password input. The dialog has '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

① 指定バージョンの配信情報変更

RADEN アプリケーションの実行データのファイルパスを指定します。ファイル情報に指定した実行データの情報を表示します。

② GDDファイルパス: C:\RADEN#Aシステム.gdd

③ 使用期間
開始日時: 2017/10/11 09:00:00
終了日時: 2018/10/11 09:00:00

④ 強制配信オプションを指定します。
 強制追加
 強制更新
 即時更新(アプリケーションを自動で再起動します)

⑤ 配信先を指定します。事前にグループ設定が必要です。
タグ名
 Aグループ
 Bグループ
 Cグループ

⑥ ログ出力を指定します。正常/警告/異常の3種類のログに対してON/OFFを指定します。
通常: ON OFF
警告: ON OFF
異常: ON OFF

⑦ パスワードを指定します。半角英数字で12桁まで入力可能です。
設定ロックパスワード: *****
パスワード再入力: *****

⑧ 登録

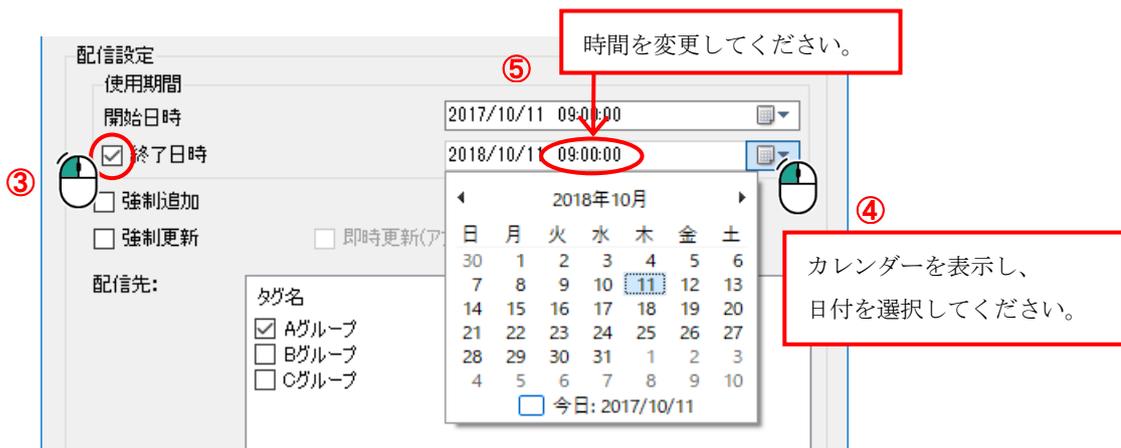
配信登録し、画面を閉じます。登録情報を一覧に表示します。

4.1.1 使用期間の指定

RADEN アプリケーションの使用期間を指定します。初期状態では、開始日時に現在時刻が表示され、終了日時は未設定になっています。開始日時のカレンダーを表示し、日付を選択してください。時間を変更する場合は、時間にカーソルを合わせて数字を変更してください。もし日時を変更しない場合、表示中の現在時刻が開始日時として登録されます。開始日時を過ぎると、クライアントへの配信が開始されます。



終了日時は、必要な場合のみチェックをONにし、日時を指定してください。終了日時を過ぎると、クライアントへの配信を終了し、ダウンロードができなくなります。既にダウンロード済みの場合、アプリケーション実行時に使用期間が過ぎている旨のメッセージが表示されます。



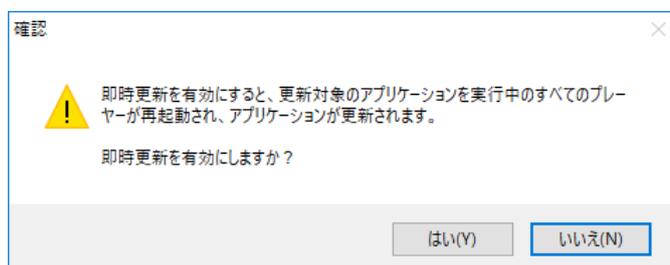
4.1.2 強制配信オプション

強制配信オプションは「強制追加」、「強制更新」、「即時更新」から成り、クライアントに対してRADENアプリケーションのダウンロードや更新を強制的に行うかどうかを指定します。強制追加は、クライアントがダウンロードを行うかどうかを指定します。強制更新は、既に配信済みのRADENアプリケーションを更新する際に更新するかどうかをクライアントが選択するかどうかを指定します。即時更新は、RADENアプリケーションの更新をアプリケーションの実行中に行うかどうかを指定し、強制更新を設定した場合のみ有効です。

強制追加
 強制更新 即時更新(アプリケーションを自動で再起動します)

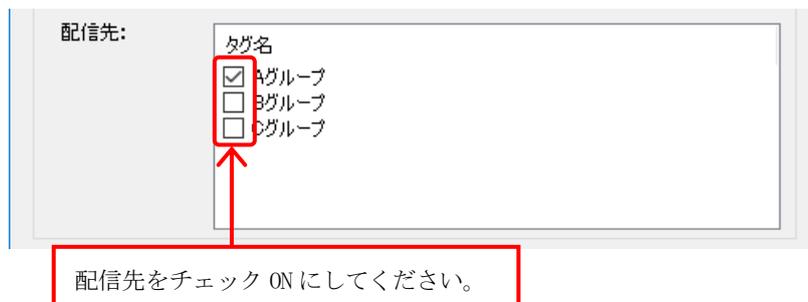
オプション	状態	動作		
強制追加	OFF	RADENアプリケーション新規追加時、クライアント側でダウンロードを選択する。		
	ON	RADENアプリケーション新規追加時、自動でダウンロードし追加する。		
強制更新	OFF	クライアントがアプリケーションを実行する際、バージョンアップの確認メッセージを表示し、アプリケーションの更新を選択する。		
	ON	オプション	状態	動作
		即時更新	OFF	バージョン更新時、クライアント側で確認メッセージを出さずに更新する。
		ON	バージョン更新時、クライアント側でアプリケーション起動中の場合も直ちに更新し、アプリケーションを再起動する。	

例) 即時更新を指定した場合の確認メッセージ



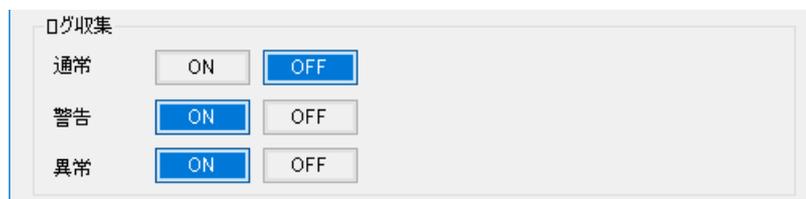
4.1.3 配信先グループの設定

特定のクライアントに配信を行う場合、配信先グループの設定を行います。配信先一覧には、グループ設定で事前に登録したタグ名が表示されます。表示中のタグ名から配信先グループを選択してください。



4.1.4 ログ出力の設定

配信した RADEN アプリケーションが実行中の動作ログを出力するかを設定します。出力するログは「正常」／「警告」／「異常」の3種類から選択します。初期状態では、「警告」／「異常」が「ON」に設定されています。配信先の端末でログ出力が「OFF」に設定されていても、こちらの設定が優先されます。



4.1.5 パスワードの設定

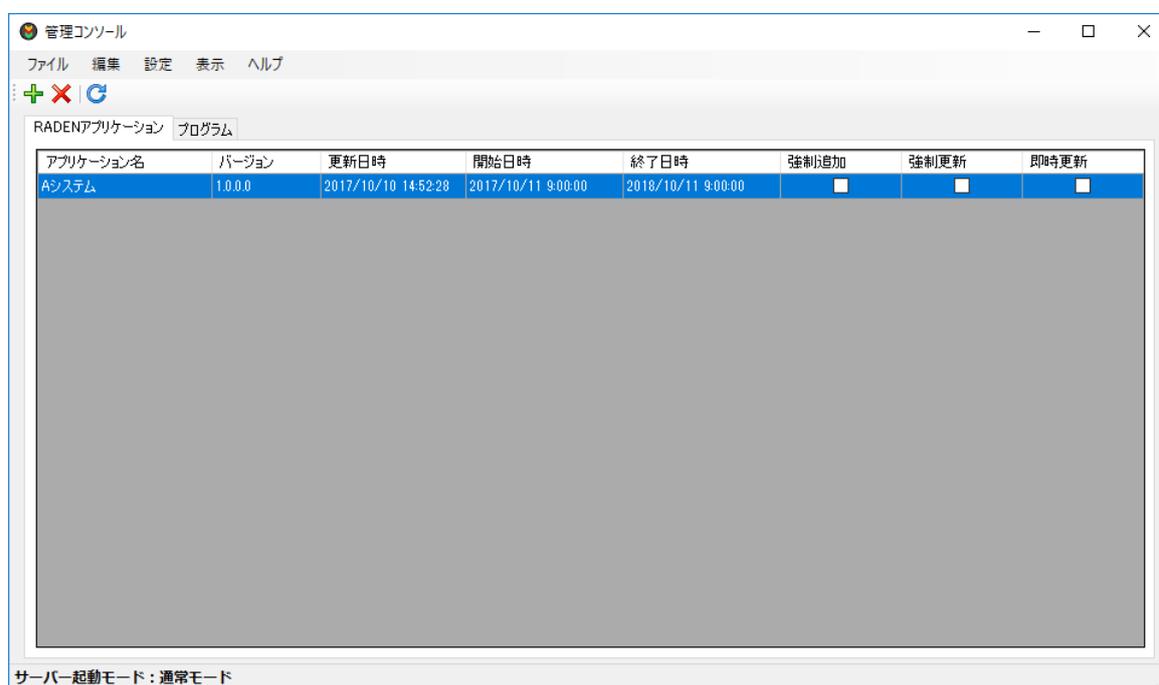
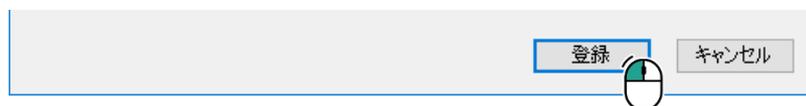
配信する RADEN アプリケーションに対してパスワードを設定します。配信先の端末で設定変更や削除を行う場合、パスワードの入力が必要になります。

パスワードは、半角英数字で12桁まで入力可能です。パスワードをなしに設定する場合、未入力としてください。



4.1.6 登録の完了

全ての設定が完了したら、「登録」ボタンを押下して下さい。「配信アプリケーションファイルの追加」画面が閉じ、RADEN アプリケーション配信一覧に追加されます。

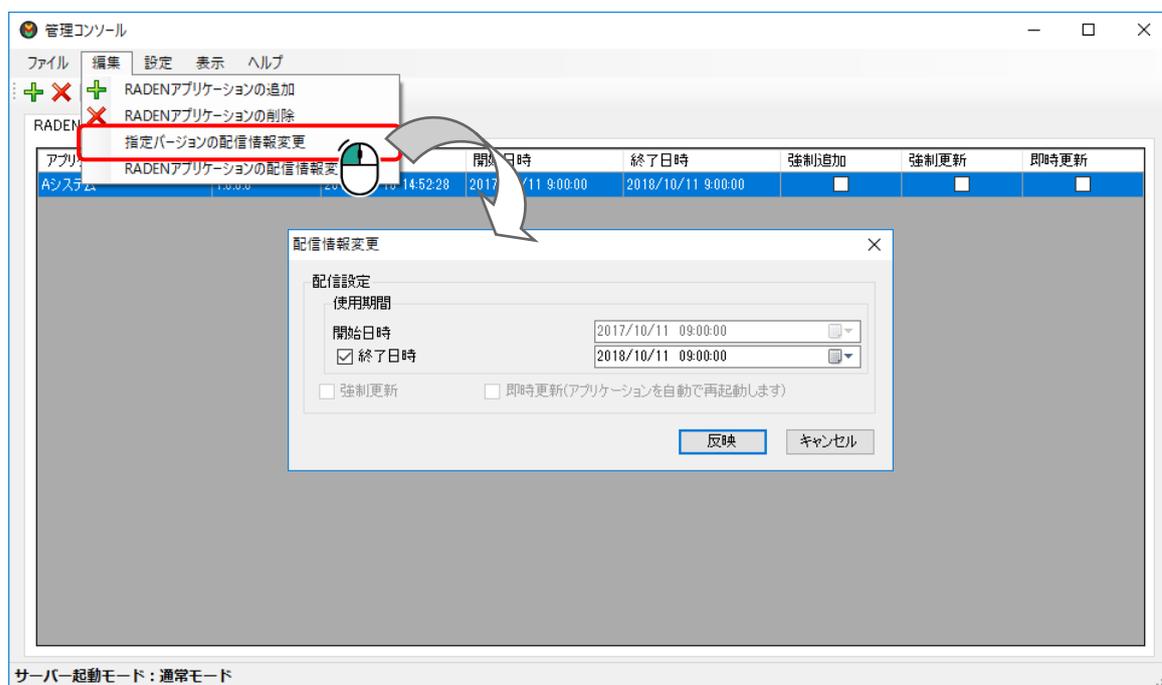


4.2 配信情報の変更

登録済みの配信情報を変更する場合、配信一覧から変更したいアプリケーションを選択し、「編集」メニューから配信情報変更画面を表示します。配信情報の使用期間と強制配信オプションは、バージョン毎に設定が可能です。ただし、配信先は、RADEN アプリケーション配信のバージョン管理機能により、バージョン間で共通の設定になります。そのため、「編集」メニューが「指定バージョンの配信情報変更」と「RADEN アプリケーションの配信情報変更」に分かれています。

4.2.1 使用期間／強制配信オプション

使用期間と強制配信オプションの変更は、「指定バージョンの配信情報変更」を選択します。現在日時が開始日時より前の場合、使用期間と強制配信オプション共に変更することができます。ただし配信準備が開始される為、開始日時の5分前より開始日時と強制配信オプションの変更ができません。終了日時のみ設定することができます。



4.2.2 配信先グループ/ログ出力/パスワード

配信先グループ、ログ出力、パスワードの変更は、「RADEN アプリケーションの配信情報変更」を選択します。これらの項目は、RADEN アプリケーション名毎に設定可能な項目です。バージョン毎に設定の変更はできません。



4.3 配信情報の削除

登録済みの配信アプリケーションを削除する場合、配信一覧から削除したいアプリケーションを選択し、「編集」メニューの「RADEN プロジェクトの削除」をクリックします。又は、ツールバー上の ✖ アイコンをクリックします。削除確認メッセージが表示され「はい(Y)」をクリックすると、選択中のアプリケーションが配信一覧から削除されます。

開始日時を過ぎていた場合でも、クライアントがダウンロード前のアプリケーションは削除され、ダウンロードができなくなります。ただし、既にクライアントがダウンロード済みのアプリケーションは削除されません。



5 プログラムの配信

サーバーからクライアントに対して、プログラムを配信するために、配信情報を登録してください。管理コンソール画面の「編集」メニューより、配信情報の登録/変更/削除の設定を行います。

5.1 配信情報の登録

配信するプログラムの登録を行います。管理コンソールの「プログラム」タブを選択してください。「編集」メニューの「プログラムの追加」をクリックし、配信情報の追加画面を表示します。又は、ツールバー上の+アイコンからも追加画面が表示できます。登録は最大1000件まで可能です。

① 配信するプログラム名と説明を入力し、プログラムの格納先パスを指定します。プログラムの実行に必要なコマンドを入力し、実行に関する設定を行います。

② 配信期間を指定します。

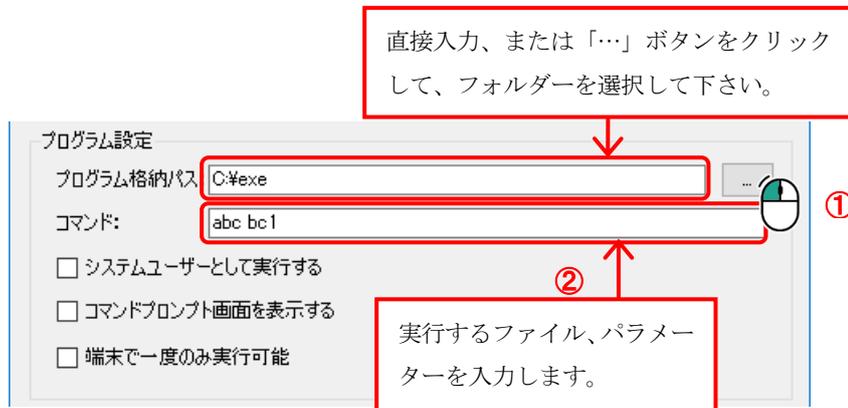
③ 自動実行を指定します。

④ 配信先グループを指定します。配信先の指定は、事前にグループ設定が必要です。

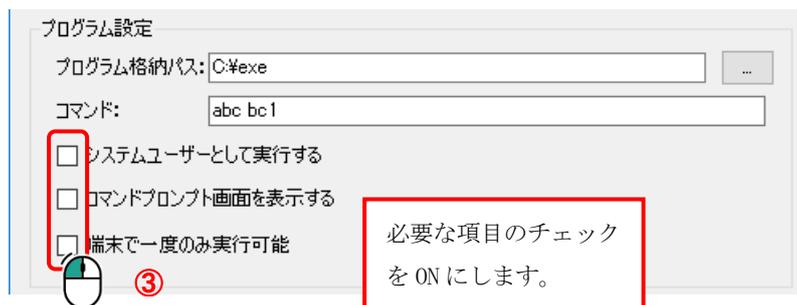
⑤ 配信登録し、画面を閉じます。登録情報を一覧に表示します。

5.1.1 プログラムの実行設定

配信するプログラムを実行するための設定を行います。プログラム格納パスには、クライアントに配信するプログラムファイルやデータファイルが格納されているフォルダーへのパスを指定します。コマンドでは、実際に実行するファイルとパラメーターを指定します。



実行に関するオプションを設定します。必要な項目のチェックをONにしてください。

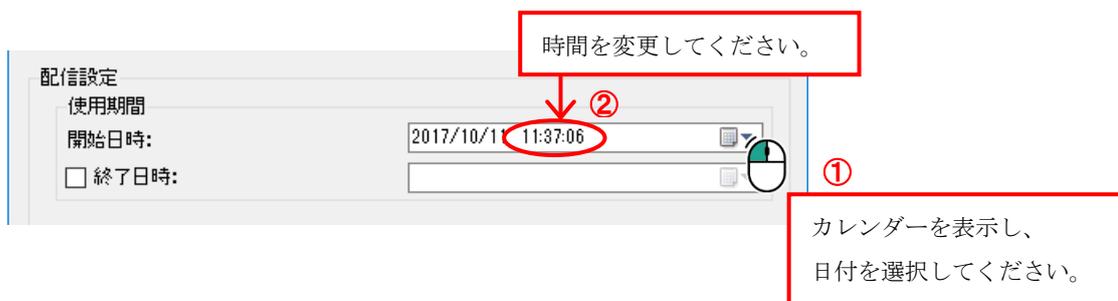


オプション項目	説明
システムユーザーとして実行する	プログラムをクライアント端末の「SYSTEM」ユーザーで実行します。なお、クライアント端末の設定でシステムユーザーとしての実行が許可されていない場合、プログラムの実行は失敗します。
コマンドプロンプト画面を表示する	コマンドプロンプト画面を表示する設定で配信プログラムを実行します。コンソールアプリケーションやバッチファイルの実行時のみ有効です。
端末で一度のみ実行可能	本オプションを有効にした場合、プログラムの実行を端末内で一度のみ可能とします。本オプションが無効な場合は、端末のユーザー毎に実行されます。

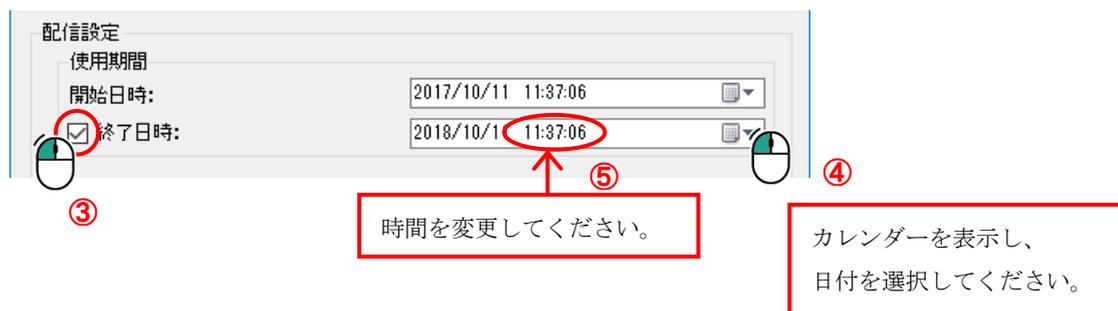
本設定の詳細は「第5章3 配信プログラムのプログラム設定詳細」を参照下さい。

5.1.2 配信期間の指定

配信するプログラムの配信期間を指定します。配信開始日時には、現在時刻が初期値として表示されており、変更しない場合、この現在時刻が配信開始日時となります。開始日時を過ぎたプログラムは、クライアントの配信プログラム一覧に表示され、ダウンロードや実行が可能になります。

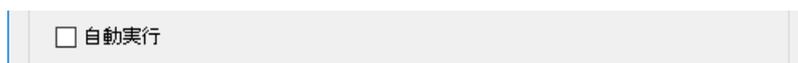


終了日時は、必要な場合のみチェックをONにし、日時を指定してください。終了日時を過ぎると、クライアントへの配信を終了します。



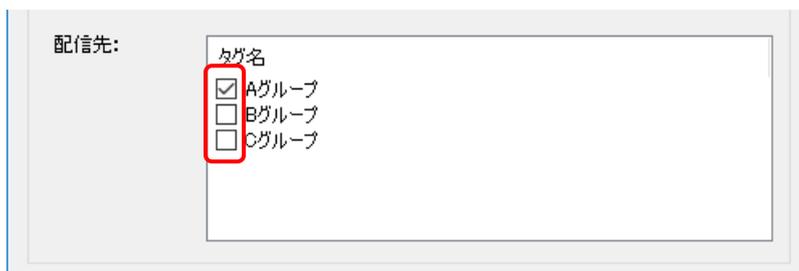
5.1.3 自動実行の指定

配信状況に応じて、自動実行を指定できます。自動実行にチェックした場合、配信後に自動で実行され配信プログラム一覧に表示されません。自動実行にチェックしない場合、配信プログラム一覧に表示されます。



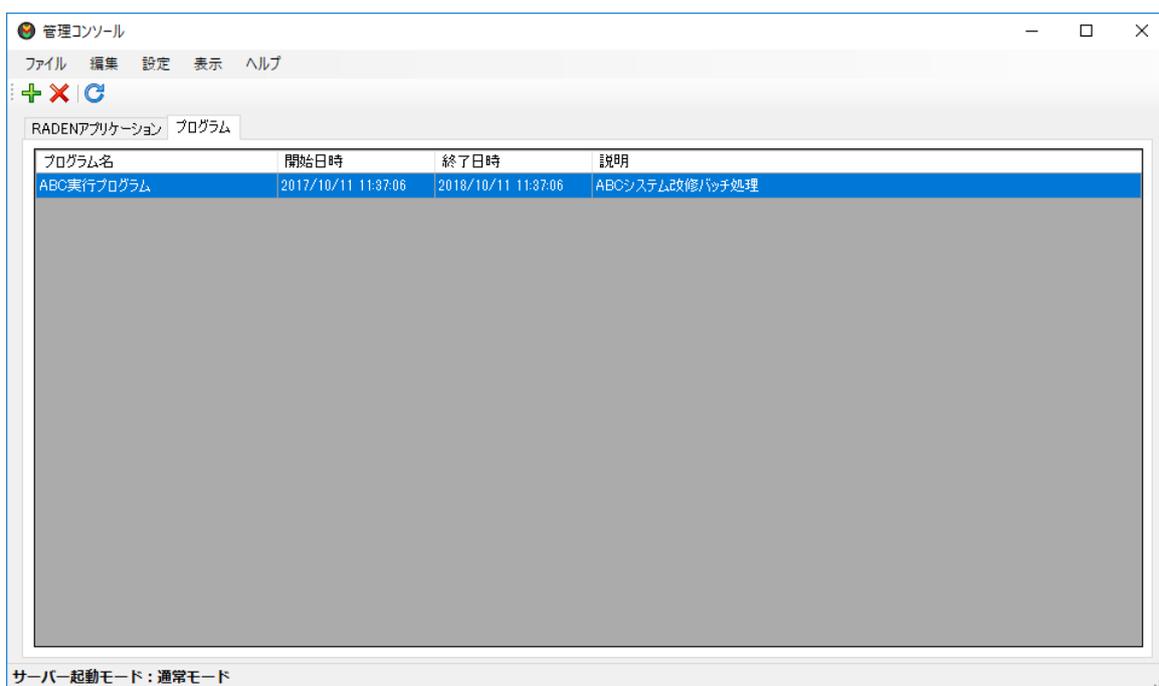
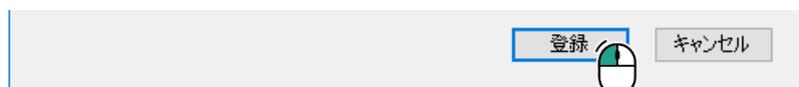
5.1.4 配信先グループの設定

特定のクライアントに配信を行う場合、配信先グループの設定を行います。グループ設定で事前に登録したタグ名が表示されます。表示中のタグ名から配信先グループを選択してください。



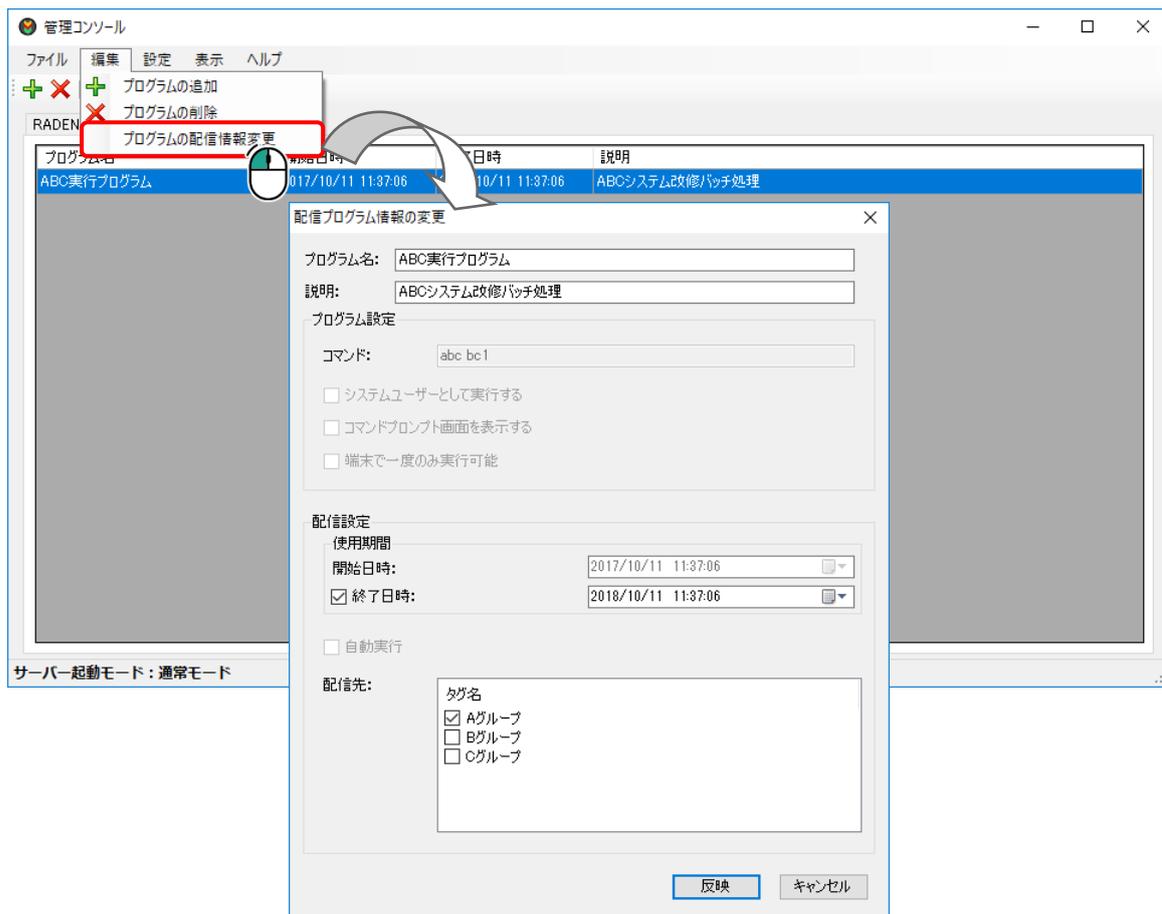
5.1.5 登録の完了

全ての設定が完了したら、「登録」ボタンを押下して下さい。「配信プログラムの追加」画面が閉じ、プログラム配信一覧に追加されます。



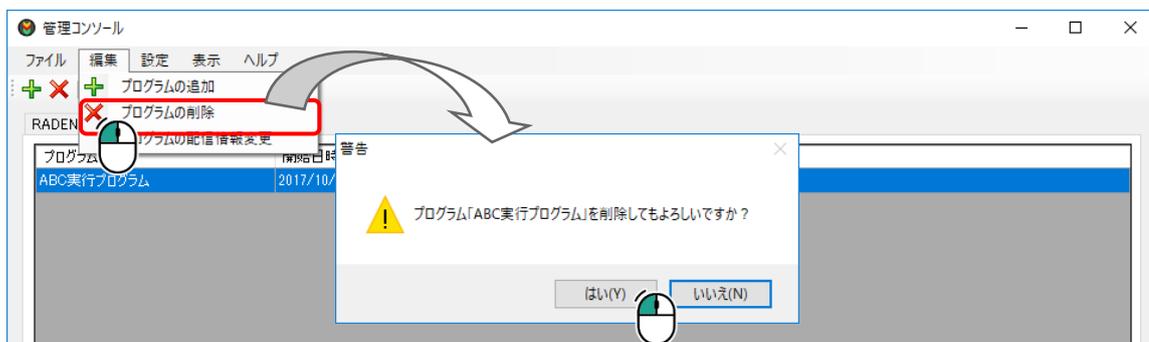
5.2 配信情報の変更

登録済みの配信情報を変更する場合、配信一覧から変更したいアプリケーションを選択し、「編集」メニューの「プログラムの配信情報変更」をクリックします。配信プログラム情報の変更画面より、配信情報を変更してください。ただし配信準備が開始されるため、配信開始日時の5分前よりプログラム設定、配信設定の自動実行の変更ができません。配信終了日時は、配信開始日時を過ぎていても設定変更することができます。



5.3 配信情報の削除

登録済みの配信情報を削除する場合、配信一覧から削除したいプログラムを選択し、「編集」メニューの「プログラムの削除」をクリックします。又は、ツールバー上の✖アイコンをクリックします。削除確認メッセージが表示されます。「はい(Y)」をクリックすると、選択中のプログラムが配信一覧から削除されます。



6 最新情報の取得

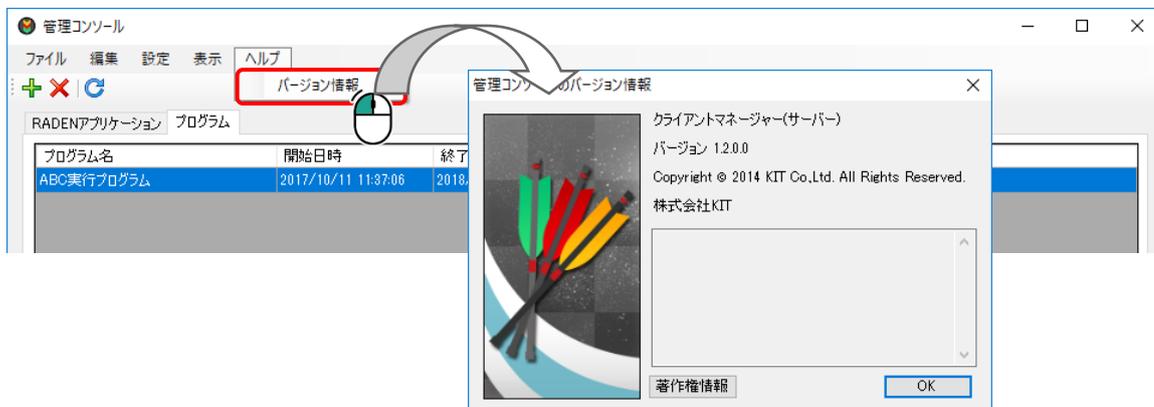
「表示」メニューの「サーバーデータを再取得」もしくはツールバー上の🔄アイコンをクリックします。

最新のデータに更新されます。



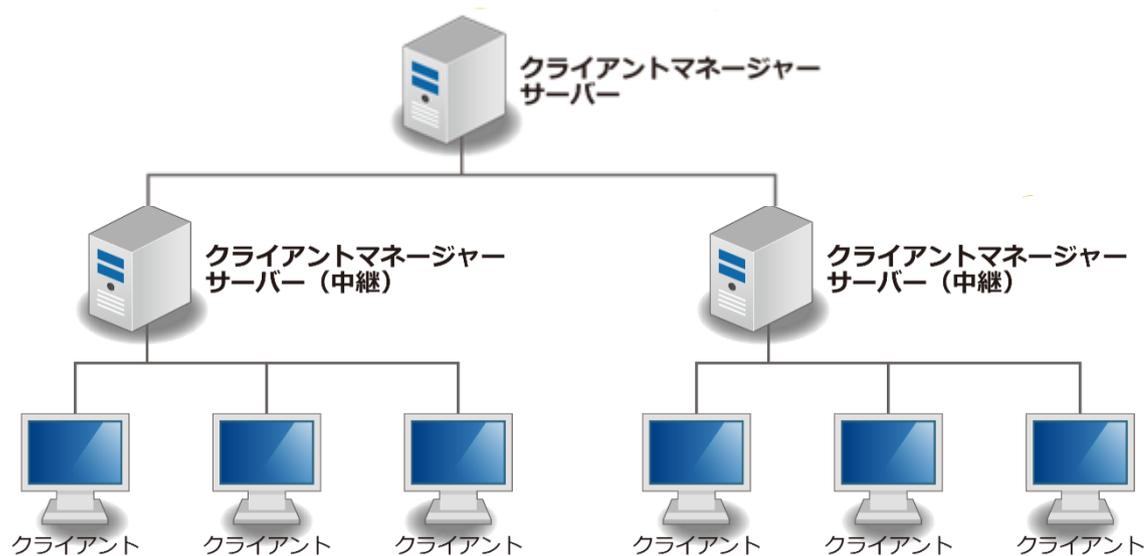
7 バージョン情報

クライアントマネージャー（サーバー）のバージョン情報を表示します。



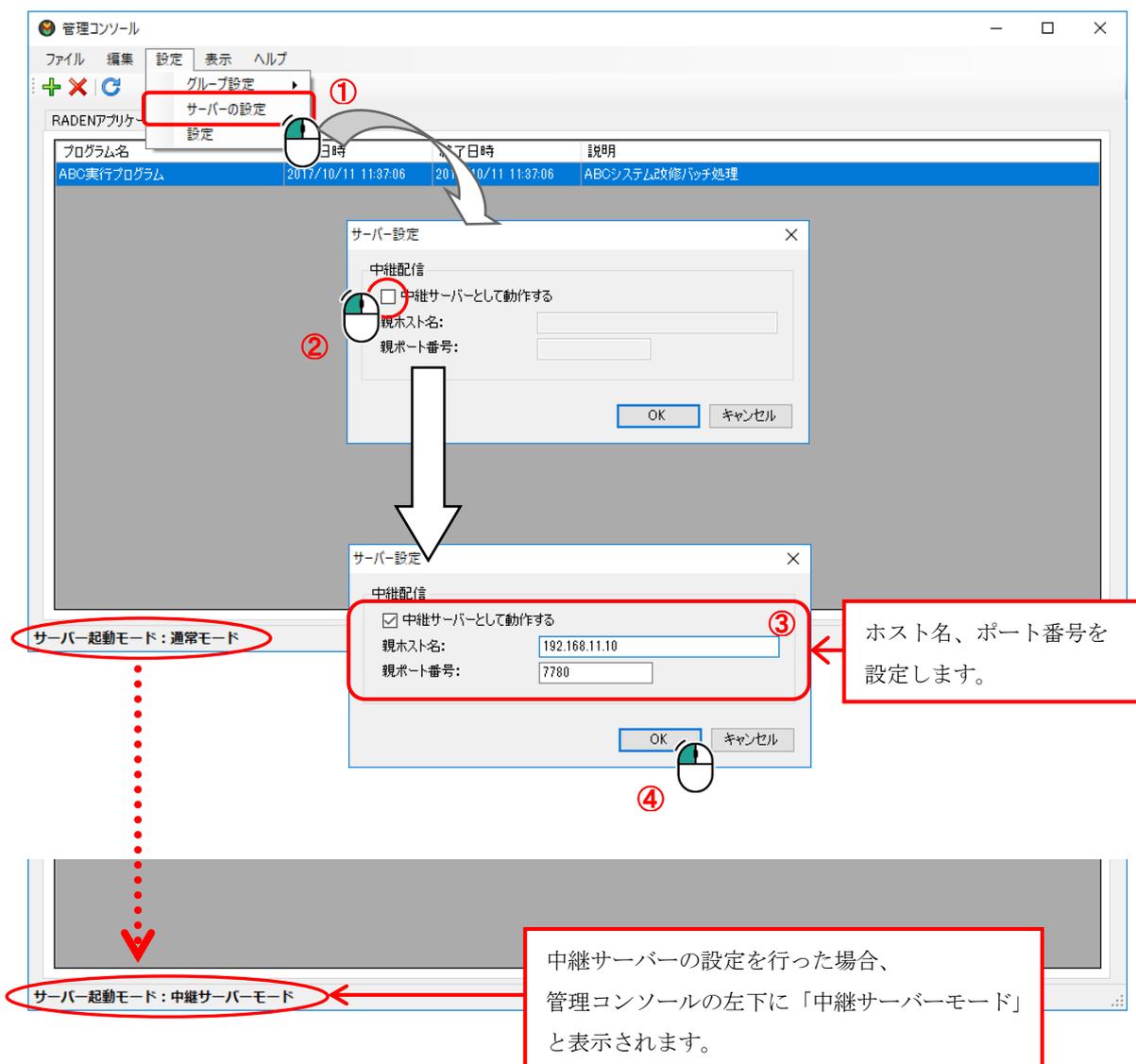
第4章 中継サーバー機能について

クライアントが社内ネットワークのみに接続しているような場合、社内ネットワークから社外のネットワークへ接続するために中継サーバーが必要になります。中継サーバーを設置してインターネットに接続する場合、クライアントマネージャーのサーバーを中継サーバーとして環境を構築することができます。



1 サーバー設定

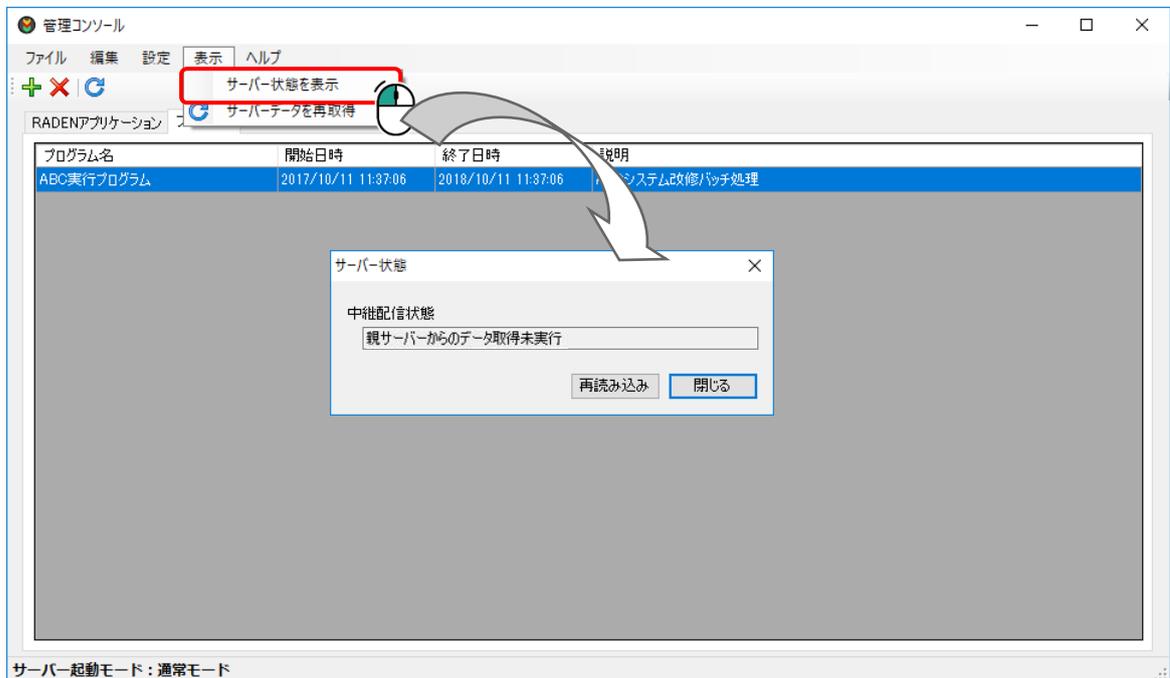
クライアントマネージャー（サーバー）を中継サーバーとして利用する場合、参照先のサーバー設定が必要です。管理コンソールの「設定」メニューの「サーバーの設定」を選択し、サーバー設定画面を表示します。「中継サーバーとして動作する」をチェック ON にし、使用環境に合わせて参照先の親ホスト名と親ポート番号の設定を行ってください。



中継サーバーモードでは、親サーバーの情報を中継する状態となり、編集メニューとグループ設定は行えません。

2 サーバー状態の表示

管理コンソールの「表示」メニューの「サーバー状態を表示」を選択すると、サーバーの状態を表示します。中継サーバーの配信状態が確認できます。



中継配信状態が「親サーバーとの通信に失敗」と表示された場合、「設定」メニューの「サーバー設定」画面より、親ホスト名、親ポート番号を確認してください。



第5章 付録1

1 プログラム実行結果の成否判定

クライアントマネージャーのクライアント側アプリケーションは配信プログラムの実行結果の成功、失敗をプログラム終了時の終了コードにて判断します。終了コード0を正常終了とし、0以外の場合はすべてエラーとします。この判断はウィンドウズのシステムエラーコードで定義されているものを基準にしています。

0以外が終了コードとして得られた場合、クライアントマネージャーのクライアント側アプリケーションは配信プログラム一覧に実行状態としてエラー終了と終了コードを表示します。

プログラム名	実行状態	説明
プログラムA	エラー終了(30215)	
プログラムB	未実行	

2 プログラムの同時実行

「自動実行」が設定されている配信プログラムにおいて、使用開始日時が同一(例1)、既に使用開始日時が過ぎているプログラムが複数存在する(例2)場合、クライアントマネージャーのクライアント側アプリケーションは配信プログラムを使用開始日時順に1つずつ実行し完了させていきます。

例1：使用開始日時が同じ場合

プログラムAとプログラムBが順不同に一つずつ実行されます。

プログラム名	開始日時	終了日時	説明
プログラムA	2017/10/11 9:00:00		
プログラムB	2017/10/11 9:00:00		

例2：既に使用開始日時が過ぎているプログラムが複数存在する場合

使用開始日時順にプログラムCの実行完了後、プログラムDが実行されます。

プログラム名	開始日時	終了日時	説明
プログラムC	2017/12/01 10:00:00		
プログラムD	2017/12/01 10:00:30		

※2017年10月11日にクライアント端末を起動せず、2017年10月12日に起動した場合、既に実行可能なプログラムCとDが存在することになります。

3 配信プログラムのプログラム設定詳細

配信プログラムの設定の詳細は以下の通りとなっています。配信時には配信するプログラムの動作仕様、クライアントマネージャーのプログラム起動仕様、配信時の設定を合わせて下さい。



基本的な設定方法は「第3章 5.1.1 プログラムの実行設定」を参照して下さい。

1. プログラム格納パス

指定されたフォルダー内のデータすべてがプログラムデータとしてクライアント端末に送られます。配信プログラムの実行時に一時領域に展開され、プログラムの実行が完了すると、一時領域は削除されます。

2. コマンド

ファイルとパラメーターを指定します。配信プログラムの実行時、一時領域からファイルを検索します。発見した場合はそのファイルを実行し、未発見の場合はWindowsのパスが通っているところでファイルが発見されれば正常に実行されます。(notepad.exe等であれば、Windowsのパスが通っていますので正常に実行されます。)

配信プログラムの実行時には作業フォルダーとして一時領域のパスが設定されます。

3. システムユーザーとして実行する

プログラムをSYSTEMユーザーが実行します。管理者権限を持っていないユーザー上で動作しているが管理者権限が必要な場合や、管理者権限を持っていてもUAC(User Account Control: ユーザーアカウント制御)を回避したい場合に使用します。注意点としては、SYSTEMユーザーは通常ユーザーとは異なり画面がありません。そのためプログラムの終了までの間に使用者による入力が必要なプログラムは途中で処理が止まります。途中で処理が止まったプログラムはタスクマネージャーから強制的に終了する必要があります。

4. コマンドプロンプト画面を表示する

配信プログラムの実行時、コマンドプロンプト画面を表示し「コマンド」で指定されたファイルを実行します。コンソールアプリケーションやバッチファイル等のコマンドプロンプト上で動作するプログラムで使用者による入力がある等、コマンドプロンプト画面が必要な場合に使用してください。ウィンドウアプリケーションの場合、本設定によらずコマンドプロンプト画面は表示されません。

「システムユーザーとして実行する」が設定されている場合、システムユーザーには画面がありませんので、必ず「コマンドプロンプト画面を表示する」が無効となります。

5. 端末で一度のみ実行可能

クライアントマネージャーのクライアントアプリケーションは、基本的にはユーザーごとに独立して動作しており同じ配信であってもユーザーごとに実行されます。しかし、インストーラーの配布等クライアント端末で一度実行すればよいプログラムの配信時は本オプションを有効にしてください。配信アプリケーションの実行状態をすべてのユーザーで共有し、端末で一度のみ実行します。

「システムユーザーとして実行する」が設定されている場合、システムユーザーは各クライアント端末に一つしかありませんので、必ず「端末で一度のみ実行可能」が有効となります。

4 インストーラーを配信し自動インストール、自動更新を行う

プログラムの配信機能を使用してインストーラーを配信することで、クライアント端末に自動的にプログラムの追加や更新を行う事が可能です。ただし、本機能で正常にインストールするためにサイレントインストールに対応したインストーラーが提供されているソフトウェアに限ります。サイレントインストールの対応状況、実行するためのコマンド等は各ソフトウェアの提供元にご確認下さい。クライアントマネージャーのサイレントインストールは「第5章 5 クライアントマネージャーのサイレントインストール」を参照下さい。

プログラム設定

プログラム格納パス: `c:\Setup`

コマンド: `msiexec /i setup /qn AUTO=1`

システムユーザーとして実行する

コマンド

端末

インストーラーが格納されているフォルダーを指定します。

ソフトウェア提供元から開示されている、サイレントインストールのコマンドを指定します

管理者権限で実行するために、「システムユーザーとして実行する」のチェックをONにします。
“SYSTEM”ユーザーで実行されます。起動したユーザー用にインストールされるインストーラーの場合、配信を受け取ったユーザーにはインストールされませんので、ご注意ください。問題を回避する方法等に関しては各ソフトウェアの提供元にご確認下さい。

5 クライアントマネージャーのサイレントインストール

クライアントマネージャーはクライアントのインストーラー、サーバーのインストーラー共にサイレントインストールに対応しています。

インストーラーファイル(クライアント、サーバー共通)

各 INSTALL CD 内の Setup フォルダー内、**Setup.msi**

コマンド (クライアント、サーバー共通)

msiexec /i setup.msi /qn AUTO=1

“setup.msi”部分はインストーラーファイルのパスを指定してください。

クライアントマネージャーの自動更新時の注意事項

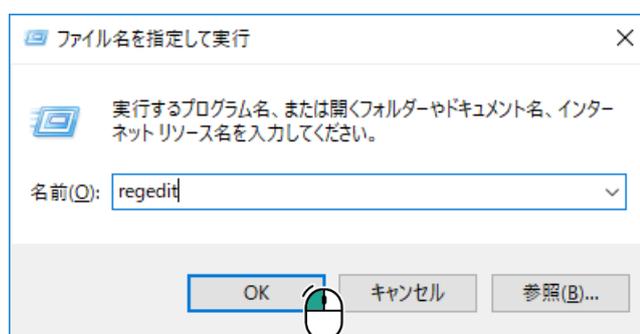
- [クライアント・サーバー共通]更新中はクライアントマネージャーのソフトウェアがすべて強制的に停止します。更新完了後、バックグラウンドで動作するクライアントマネージャーのサービスは起動されますが、画面は起動しません。
- [クライアント]プログラムの配信機能で実行中のプログラムは動作したままとなります。

第6章 付録2

1 サーバーのポート番号の変更

サーバーがクライアントからの通信を受け付けるポート番号を変更します。通常、本操作は不要ですが、サーバー端末にインストールされている他のアプリケーションとポート番号が重複する等、デフォルトで設定されたポート番号が使用出来ない場合に変更してください。ポート番号が他のアプリケーションと重複している場合、管理コンソールでアクセスエラーが発生する等正常に動作しません。

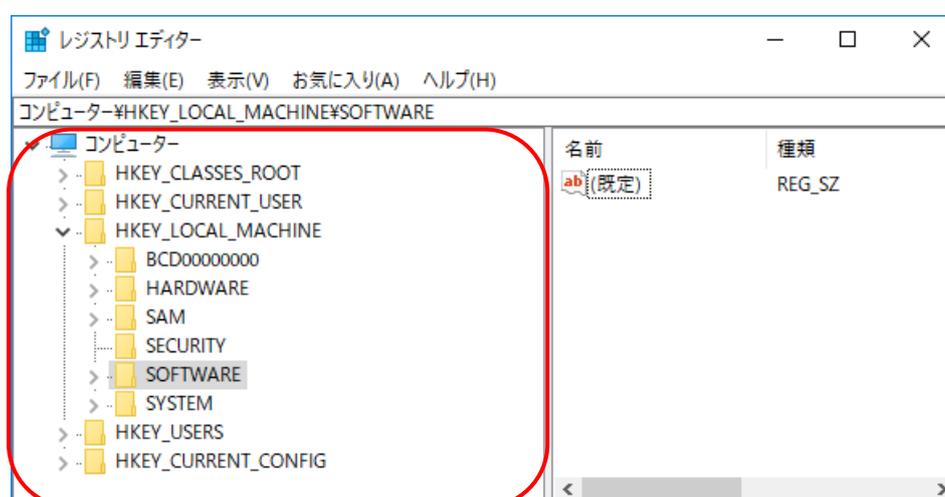
- (1) 「ウィンドウズ」キーと「R」キーを同時に押下し、「regedit」と入力します。「OK」ボタンをクリックするとレジストリエディターが起動します。



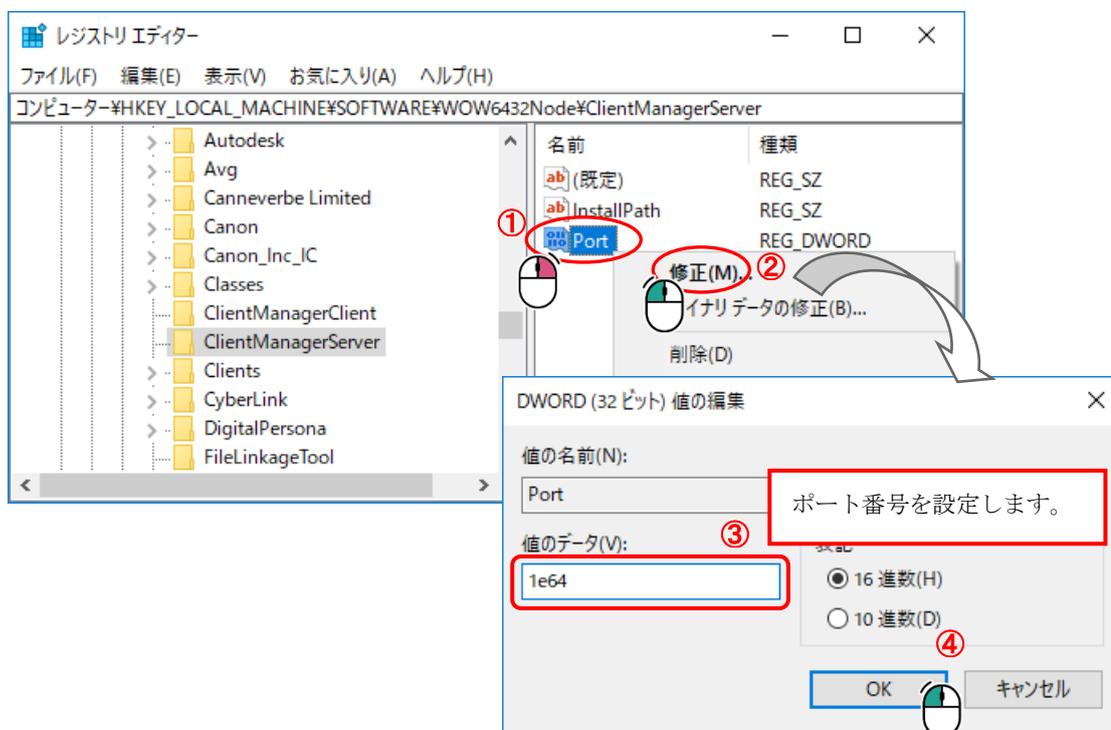
- (2) 左のペインのツリーを操作して、以下のキーに移動してください。

32bit OS : 「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥ClientManagerServer」

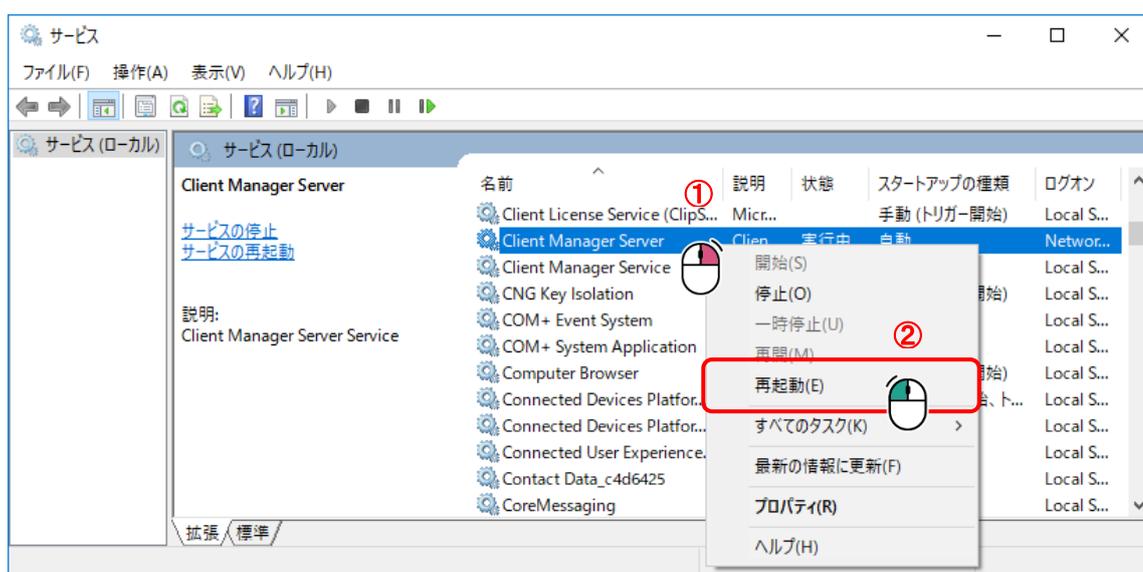
64bit OS : 「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥ClientManagerServer」



- (3) 「Port」項目を右クリックし、現れたメニューから「修正」をクリックすると、値の編集画面が表示されます。「値のデータ」に設定したいポート番号を入力してください。値の指定は16進数または10進数で行います。入力が完了したら「OK」ボタンをクリック後、レジストリエディターを終了してください。



- (4) 「ウィンドウズ」キーと「R」キーを同時に押し、「services.msc」と入力します。「OK」ボタンをクリックするとサービスが起動します。
- (5) 「Client Manager Server」を右クリックし、現れたメニューから「再起動」をクリックします。



第7章 付録3

1 RADEN アプリケーションの配信仕様

クライアントマネージャーに登録した RADEN アプリケーションは、配信先のクライアント端末が配信対象の場合、RADEN プレーヤーに追加／更新されます。また、配信する情報にはアプリケーション名毎に設定可能な項目と、バージョン毎に設定可能な項目があります。

配信情報	設定情報	
	アプリケーション情報	バージョン情報
アプリケーション名	○	
バージョン		○
使用期間 (開始日時／終了日時)		○
強制追加	○	
強制更新／即時更新		○
配信先タグ	○	
ログ出力	○	
パスワード	○	

索引

あ

アプリケーションの更新	19
アプリケーションの実行	19, 35
アプリケーションの登録	17

か

管理コンソール	11, 12, 13, 15, 16, 17, 24, 31, 32, 37
強制配信	2, 19, 22
グループ	1, 2, 3, 14, 15, 16, 20, 23, 27, 31
グループ管理	3, 14
グループタグ	14, 15, 16
コマンド	3, 25, 34, 35, 36

さ

指定バージョン	22
自動配信機能	2
使用期間	18, 22
セットアップ機能	3
即時更新	19

た

タグ設定	14, 16
タグ設定ユーザー	14, 16
中継サーバー機能	3, 30

な

日時指定機能	2, 3
--------------	------

は

バージョン管理機能	2, 22
配信一覧表示	13
配信情報	15, 17, 22, 23, 24, 28, 29
プログラムの配信	24, 26, 28, 35, 36
ポート番号	12, 31, 32, 37, 38
ホスト名	12, 31, 32

 **クライアントマネージャー
サーバー
ユーザーズガイド**

2017年10月 1日 第3版

2018年 8月29日 第4版

2021年 3月 9日 第5版

発行

株式会社KIT

〒460-0026

愛知県名古屋市中区伊勢山2丁目11-15 ASビル金山

Copyright (c) 2014 KIT Co., Ltd. All Rights Reserved.